

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99

成績書管理番号 : 1-18

令和5年4月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-18

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年4月13日
至 令和5年4月18日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第 3 2 1 号 (平成 2 8 年 1 0 月 7 日)
	関原発第 4 3 5 号 (平成 3 0 年 3 月 2 0 日)
	関原発第 4 7 号 (平成 3 0 年 4 月 2 0 日)
	関原発第 2 0 3 号 (平成 3 0 年 7 月 4 日)
	関原発第 2 6 0 号 (平成 3 0 年 8 月 2 0 日)
	関原発第 4 1 6 号 (平成 3 0 年 1 2 月 5 日)
	関原発第 5 0 5 号 (平成 3 1 年 2 月 1 日)
	関原発第 5 1 3 号 (平成 3 1 年 2 月 6 日)
	関原発第 4 号 (平成 3 1 年 4 月 4 日)
	関原発第 6 9 号 (2 0 1 9 年 5 月 1 6 日)
	関原発第 1 1 6 号 (2 0 1 9 年 6 月 2 4 日)
	関原発第 2 0 5 号 (2 0 1 9 年 8 月 2 3 日)
	関原発第 5 1 1 号 (2 0 2 0 年 1 月 3 1 日)
	関原発第 5 4 3 号 (2 0 2 0 年 2 月 2 6 日)
	関原発第 6 1 8 号 (2 0 2 0 年 3 月 2 4 日)
	関原発第 2 3 号 (2 0 2 0 年 4 月 7 日)
	関原発第 2 3 号 (2 0 2 1 年 4 月 3 0 日)
	関原発第 2 9 3 号 (2 0 2 1 年 8 月 2 日)
	関原発第 5 6 2 号 (2 0 2 2 年 2 月 2 8 日)
	関原発第 5 8 5 号 (2 0 2 2 年 3 月 1 5 日)
	関原発第 1 3 7 号 (2 0 2 2 年 6 月 1 0 日)
	関原発第 2 0 9 号 (2 0 2 2 年 7 月 1 日)
	関原発第 5 8 0 号 (2 0 2 2 年 1 2 月 2 7 日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 4 月 13 日	良	増本 豊 吉村 直樹	茶電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラ-タ-セン 主任技術者 [Redacted]	なし

u

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和5年4月13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良 ー	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良 ー	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良 ー	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和5年4月13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良 -	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良 -	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良 -	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良 -	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 13 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御方式及び制御方法 発電用原子炉の制御方式、発電用原子炉の制御方法 別添 1 参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・機能確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">記録確認</div> </div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0001 ・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和5年4月13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	判定基準 ^{※1} (m ³ /h)	測定値 (m ³ /h)	検査 結果	検査 方法
発電用原子炉の制御方式 発電用原子炉の制御方法 (別添2参照)	機能確認検査 (緊急ほう酸注入 ライン流量)	13.6以上	19.25	良	目視
以下余白					
備考 ※1：工認 添付資料4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書より					

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和5年4月13日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
機能確認 検査	流量計				2023.01.16 次回定期事業者検査まで	
以下余白						

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

1 制御方式及び制御方法

(1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

	変更前	変更後
発電用原子炉の制御方式	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式^(注1)</p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式^(注2)</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレイでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式^(注3)</p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式 (変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式 (変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式 (変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画書の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。

(2) 発電用原子炉の制御方法

制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(1/4)

	変更前	変更後
発電用原子炉の制御方法	<p>発電用原子炉の制御は以下の方法で行う。</p> <p>a 制御棒の位置の制御方法(1次冷却材の温度の制御を含む。)^(注1)</p> <p>制御棒は制御グループと停止グループとに分けて、制御グループ制御棒クラスは1次冷却材平均温度とタービン負荷に比例するプログラム平均温度との差(主信号)及び中性子束信号とタービン負荷信号との差(補助信号)を許容値内に保つことにより、プラントの出力変化に追従するように自動制御される。</p> <p>また手動制御も可能である。停止グループ制御棒クラスは、制御グループ制御棒クラスとともに、炉心に挿入することにより原子炉を出力状態から速やかに高温停止させる。</p> <p>b 1次冷却材のほう素濃度の制御方法^(注1)</p> <p>化学体積制御設備は、1次冷却材のほう素濃度調整により、高温等出力状態から室温状態までの1次冷却材温度の変化、キセノン、サマリウム等の核分裂生成物量の変化及び燃料の燃焼に伴う比較的ゆるやかな反応度変化の補償を行う。1次冷却材のほう素濃度調整は、フィードアンドブリード方式の4つの制御モード(「自動補給」、「希釈」、「急速希釈」及び「濃縮」)のいずれかによって行う。</p> <p>c 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方法</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方法^(注2)</p> <p>加圧器の圧力を制御することにより1次冷却材の圧力を一定に保つ。</p> <p>このため、加圧器には加圧器スプレイ弁、加圧器逃がし弁及び加圧器ヒータを設置し、原子炉運転中では加圧器の圧力変動に応じて、加圧器スプレイでの冷却による減圧調整又は加圧器ヒータでの加熱による加圧調整の組合せにより加圧器の圧力の制御を行う。</p> <p>なお、加圧器スプレイの能力を超えるような圧力上昇があった場合には、加圧器逃がし弁の作動により圧力上昇を阻止する。</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方法^(注2)</p> <p>加圧器水位プログラムに基づき1次冷却材平均温度に比例した加圧器基準水位を設定し、出力変化に伴う実際の1次冷却材の体積変化が基準水位に一致するように制御する。この加圧器基準水位と加圧器水位との偏差信号に従い、化学体積制御設備の充てん流量を自動調整して加圧器の水位の制御を行う。</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方法で行う。</p> <p>a 制御棒の位置の制御方法(1次冷却材の温度の制御を含む。)</p> <p>(変更なし)</p> <p>b 1次冷却材のほう素濃度の制御方法</p> <p>(変更なし)</p> <p>c 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方法</p> <p>(変更なし)</p>

(次ページに続く)

10

変更前		変更後																								
発電用原子炉の制御方法	d 安全保護系の制御方法 (注4)	発電用原子炉の制御方法	d 安全保護系の制御方法																							
	(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能 (注4) 原子炉非常停止信号の作動回路は、“2 out of 3”方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。		(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能 原子炉非常停止信号の作動回路は、“2 out of 3”方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。 原子炉非常停止信号の論理回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアと統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉非常停止信号の作動回路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置</td> </tr> <tr> <td>演算処理方式</td> <td>シングルタスク方式</td> </tr> <tr> <td>デジタル制御装置の個数</td> <td>論理回路：4</td> </tr> <tr> <td>自己診断</td> <td>マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、保護機能喪失の場合は当該チャンネルをトリップ状態とする</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">環境条件</td> <td>温度</td> <td>0～50℃</td> </tr> <tr> <td>湿度</td> <td>10～95%RH</td> </tr> <tr> <td>放射線量</td> <td>放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)</td> </tr> <tr> <td>応答時間</td> <td>0.2秒以下 プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、原子炉非常停止信号が原子炉トリップしゃ断器へ出力されるまで。ただし、デジタル制御装置の入力が接点信号である原子炉非常停止信号は、0.16秒以下。</td> </tr> <tr> <td>データ通信</td> <td>計測制御系と電氣的及び機能的に分離</td> </tr> <tr> <td>外部ネットワークとの遮断</td> <td>外部ネットワークへの直接接続なし</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉非常停止信号の作動回路		種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置	演算処理方式	シングルタスク方式	デジタル制御装置の個数	論理回路：4	自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、保護機能喪失の場合は当該チャンネルをトリップ状態とする	環境条件	温度	0～50℃	湿度	10～95%RH	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)	応答時間	0.2秒以下 プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、原子炉非常停止信号が原子炉トリップしゃ断器へ出力されるまで。ただし、デジタル制御装置の入力が接点信号である原子炉非常停止信号は、0.16秒以下。	データ通信	計測制御系と電氣的及び機能的に分離	外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし
原子炉非常停止信号の作動回路																										
種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置																									
演算処理方式	シングルタスク方式																									
デジタル制御装置の個数	論理回路：4																									
自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、保護機能喪失の場合は当該チャンネルをトリップ状態とする																									
環境条件	温度	0～50℃																								
	湿度	10～95%RH																								
	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)																								
応答時間	0.2秒以下 プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、原子炉非常停止信号が原子炉トリップしゃ断器へ出力されるまで。ただし、デジタル制御装置の入力が接点信号である原子炉非常停止信号は、0.16秒以下。																									
データ通信	計測制御系と電氣的及び機能的に分離																									
外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし																									

(次ページに続く)

変更前		変更後																														
発電用原子炉の制御方法	<p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能 ^(注1.6)</p> <p>工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で"2 out of 3"方式等の論理回路及び作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。</p>	発電用原子炉の制御方法	<p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p> <p>工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で"2 out of 3"方式等の論理回路及び2系列の作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。</p> <p>工学的安全施設作動信号の作動回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアを統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。</p>																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">工学的安全施設作動信号の作動回路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">種類</td> <td colspan="2">マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置</td> </tr> <tr> <td>演算処理方式</td> <td colspan="2">シングルタスク方式</td> </tr> <tr> <td>デジタル制御装置の個数</td> <td colspan="2">論理回路：4 作動装置：2</td> </tr> <tr> <td>自己診断</td> <td colspan="2">マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、異常な信号を出力しないようにする</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">環境条件</td> <td>温度</td> <td>0～50℃</td> </tr> <tr> <td>湿度</td> <td>10～95%RH</td> </tr> <tr> <td>放射線量</td> <td>放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)</td> </tr> <tr> <td>応答時間</td> <td colspan="2">1.0秒以下 〔プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、工学的安全施設作動信号が出力されるまで〕</td> </tr> <tr> <td>データ通信</td> <td colspan="2">計測制御系と電気的及び機能的に分離</td> </tr> <tr> <td>外部ネットワークとの遮断</td> <td colspan="2">外部ネットワークへの直接接続なし</td> </tr> </tbody> </table>		工学的安全施設作動信号の作動回路			種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置		演算処理方式	シングルタスク方式		デジタル制御装置の個数	論理回路：4 作動装置：2		自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、異常な信号を出力しないようにする		環境条件	温度	0～50℃	湿度	10～95%RH	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)	応答時間	1.0秒以下 〔プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、工学的安全施設作動信号が出力されるまで〕		データ通信	計測制御系と電気的及び機能的に分離		外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし
工学的安全施設作動信号の作動回路																																
種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置																															
演算処理方式	シングルタスク方式																															
デジタル制御装置の個数	論理回路：4 作動装置：2																															
自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、異常な信号を出力しないようにする																															
環境条件	温度	0～50℃																														
	湿度	10～95%RH																														
	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)																														
応答時間	1.0秒以下 〔プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、工学的安全施設作動信号が出力されるまで〕																															
データ通信	計測制御系と電気的及び機能的に分離																															
外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし																															

12

(次ページに続く)

変更前	変更後
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発電用原子炉の制御方法</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発電用原子炉の制御方法</p> <p>e 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、“2 out of 3”方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持する設計(フェイル・アズ・イズ)とし、駆動源が喪失したことを運転員が確実に認知できるように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> <p>原子炉トリップ失敗時の1次冷却材のほう素濃度調整として、炉心に十分な量のほう酸水を注入する。</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

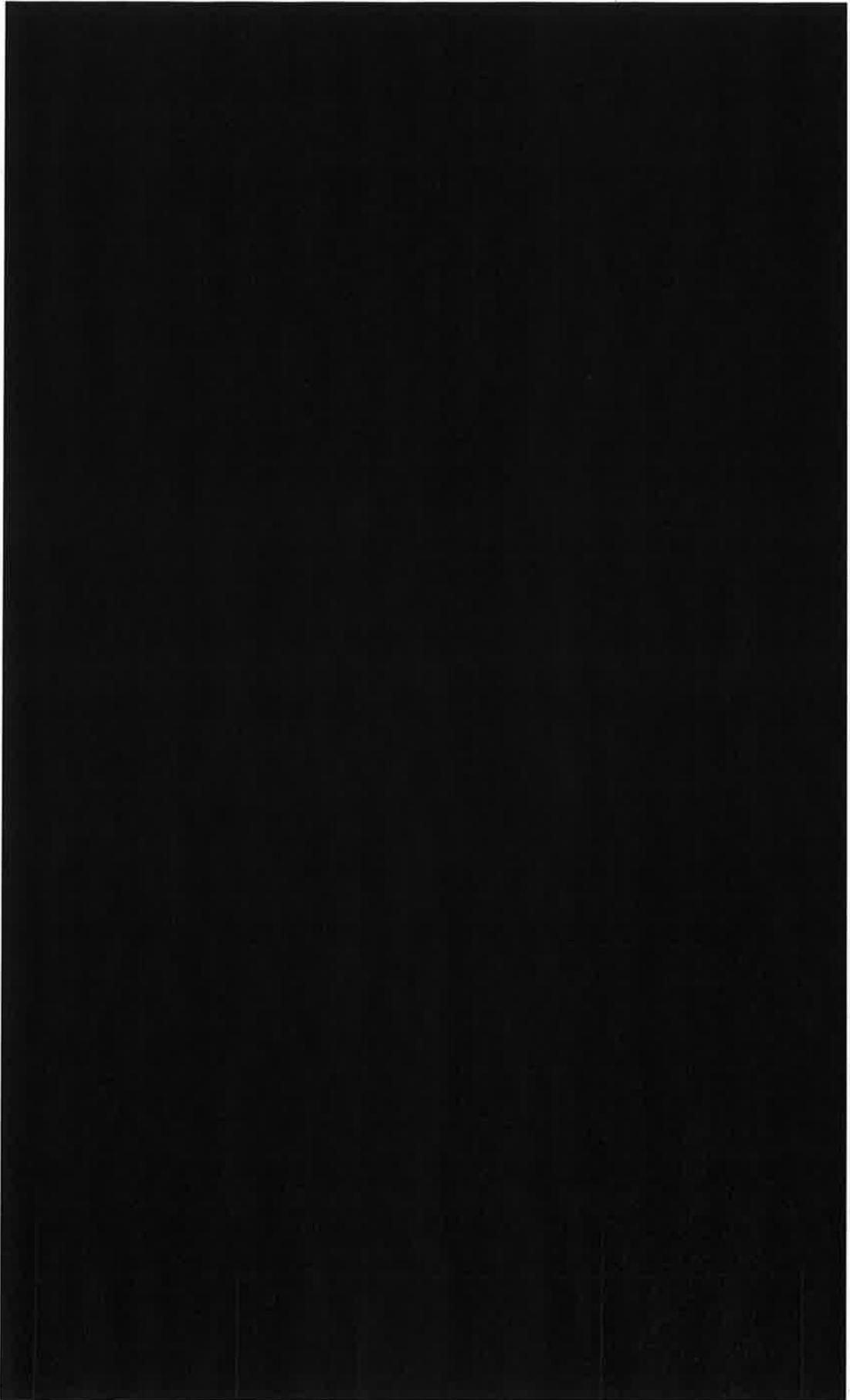
(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載。

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。

13



検査結果一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 4 月 18 日	良	渋谷 徹 増本 豊 今瀬 正博	発電用原子炉 主任技術者 	〇〇

15

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御方式及び制御方法 発電用原子炉の制御方式 工学的安全施設等の作動信号 常設（原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号） 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ロジック回路動作検査 ・警報検査 設定値確認検査 ・作動回路設定値確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0723 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添 2 参照	系統機能検査 ・ロジック回路動作検査	—	良	目視
別添 2 参照	系統機能検査 ・警報検査	—	良	
B 蒸気発生器 水位異常低 (LB485J)	設定値確認検査 ・作動回路設定値確認検査	8.9 % ^{※1}	良	
備考 ※1：設定値 9.0% (許容誤差範囲 8.3%~9.7%)				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-18

検査年月日：令和 5 年 4 月 18 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
設定値確認 検査	標準圧力発 生器				2020. 8. 11 2023. 8. 10	
以下余白						

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

1 制御方式及び制御方法

(1) 発電用原子炉の制御方式

発電用原子炉の反応度の制御方式、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式

	変更前	変更後
発電用原子炉の制御方式	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式^(注1)</p> <p>(a) 制御棒の位置調整</p> <p>(b) 1次冷却材のほう素濃度調整</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式^(注2)</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方式</p> <p>イ 加圧器スプレイでの冷却による減圧調整</p> <p>ロ 加圧器逃がし弁による減圧調整</p> <p>ハ 加圧器ヒータでの加熱による加圧調整</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方式</p> <p>イ 充てん流量による水位調整</p> <p>c 安全保護系の制御方式^(注3)</p> <p>(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能</p> <p>(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方式で行う。</p> <p>a 発電用原子炉の反応度の制御方式 (変更なし)</p> <p>b 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方式 (変更なし)</p> <p>c 安全保護系の制御方式 (変更なし)</p> <p>d 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方式</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」及び「安全注入信号」による。

(2) 発電用原子炉の制御方法

制御棒の位置の制御方法、一次冷却材のほう素濃度の制御方法、加圧器の圧力、加圧器の水位の制御方法及び安全保護系等の制御方法

(1/4)

変更前	変更後
<p>発電用原子炉の制御は以下の方法で行う。</p> <p>a 制御棒の位置の制御方法(1次冷却材の温度の制御を含む。)(注1)</p> <p>制御棒は制御グループと停止グループとに分け、制御グループ制御棒クラスは1次冷却材平均温度とタービン負荷に比例するプログラム平均温度との差(主信号)及び中性子束信号とタービン負荷信号との差(補助信号)を許容値内に保つことにより、プラントの出力変化に追従するように自動制御される。</p> <p>また手動制御も可能である。停止グループ制御棒クラスは、制御グループ制御棒クラスとともに、炉心に挿入することにより原子炉を出力状態から速やかに高温停止させる。</p> <p>b 1次冷却材のほう素濃度の制御方法(注1)</p> <p>化学体積制御設備は、1次冷却材のほう素濃度調整により、高温零出力状態から室温状態までの1次冷却材温度の変化、キセノン、サマリウム等の核分裂生成物量の変化及び燃料の燃焼に伴う比較的ゆるやかな反応度変化の補償を行う。1次冷却材のほう素濃度調整は、フィードアンドブリード方式の4つの制御モード(「自動補給」、「希釈」、「急速希釈」及び「濃縮」)のいずれかによって行う。</p> <p>c 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方法</p> <p>(a) 加圧器の圧力の制御方法(注2)</p> <p>加圧器の圧力を制御することにより1次冷却材の圧力を一定に保つ。</p> <p>このため、加圧器には加圧器スプレイ弁、加圧器逃がし弁及び加圧器ヒータを設置し、原子炉運転中では加圧器の圧力変動に応じて、加圧器スプレイでの冷却による減圧調整又は加圧器ヒータでの加熱による加圧調整の組合せにより加圧器の圧力の制御を行う。</p> <p>なお、加圧器スプレイの能力を超えるような圧力上昇があった場合には、加圧器逃がし弁の作動により圧力上昇を阻止する。</p> <p>(b) 加圧器の水位の制御方法(注2)</p> <p>加圧器水位プログラムに基づき1次冷却材平均温度に比例した加圧器基準水位を設定し、出力変化に伴う実際の1次冷却材の体積変化が基準水位に一致するように制御する。この加圧器基準水位と加圧器水位との偏差信号に従い、化学体積制御設備の充てん流量を自動調整して加圧器の水位の制御を行う。</p>	<p>発電用原子炉の制御は以下の方法で行う。</p> <p>a 制御棒の位置の制御方法(1次冷却材の温度の制御を含む。)</p> <p>(変更なし)</p> <p>b 1次冷却材のほう素濃度の制御方法</p> <p>(変更なし)</p> <p>c 加圧器の圧力及び加圧器の水位の制御方法</p> <p>(変更なし)</p>

発電用原子炉の制御方法

発電用原子炉の制御方法

変更前

d 安全保護系の制御方法^(註3)

(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能^(註4)

原子炉非常停止信号の作動回路は、"2 out of 3"方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。

発電用原子炉の制御方法

23

変更後

d 安全保護系の制御方法

(a) 原子炉非常停止信号による原子炉非常停止機能

原子炉非常停止信号の作動回路は、"2 out of 3"方式等の論理回路及び原子炉トリップしゃ断器で構成され、原子炉非常停止を行う。

原子炉非常停止信号の論理回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアと統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。

発電用原子炉の制御方法

原子炉非常停止信号の作動回路		
種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置	
演算処理方式	シングルタスク方式	
デジタル制御装置の個数	論理回路：4	
自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、保護機能喪失の場合は当該チャンネルをトリップ状態とする	
環境条件	温度	0～50℃
	湿度	10～95%RH
	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)
応答時間	0.2秒以下 プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、原子炉非常停止信号が原子炉トリップしゃ断器へ出力されるまで。ただし、デジタル制御装置の入力が接点信号である原子炉非常停止信号は、0.16秒以下。	
データ通信	計測制御系と電氣的及び機能的に分離	
外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし	

変更前

(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能^(註1.9)
 工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で” 2 out of 3” 方式等の論理回路及び作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。

発電用原子炉の制御方法

変更後

(b) 工学的安全施設作動信号による工学的安全施設の起動機能
 工学的安全施設作動信号の作動回路は多重構成で” 2 out of 3” 方式等の論理回路及び2系列の作動装置で構成され、工学的安全施設の起動を行う。
 工学的安全施設作動信号の作動回路は、マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置を適用し、検証及びハードウェアを統合されたシステムに対する妥当性確認を行ったソフトウェアを使用する。

発電用原子炉の制御方法

工学的安全施設作動信号の作動回路		
種類	マイクロプロセッサを用いたデジタル制御装置	
演算処理方式	シングルタスク方式	
デジタル制御装置の個数	論理回路：4 作動装置：2	
自己診断	マイクロプロセッサの停止、通信の遮断等を検知し、警報を発信するとともに、異常な信号を出力しないようにする	
環境条件	温度	0～50℃
	湿度	10～95%RH
	放射線量	放射線の影響のないこと(非管理区域に設置)
応答時間	1.0秒以下 } プロセス信号がデジタル制御装置に入力されてから、 工学的安全施設作動信号が出力されるまで	
データ通信	計測制御系と電氣的及び機能的に分離	
外部ネットワークとの遮断	外部ネットワークへの直接接続なし	

24

変更前	変更後
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発電用原子炉の制御方法</p>	<p style="text-align: center;">e. 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の制御方法</p> <p>(a) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号による原子炉出力抑制機能</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号の作動回路は、“2 out of 3”方式の論理回路及び作動装置で構成され、原子炉出力抑制を行う。</p> <p>原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号の検出部及び論理回路部は、検出部又は論理回路部の駆動源の喪失が生じた場合において、原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための設備の作動信号を作動させず原子炉施設の安全上支障がない状態を維持する設計(フェイル・アズ・イズ)とし、駆動源が喪失したことを運転員が確実に認知できるように中央制御室に警報を表示する。</p> <p>(b) 原子炉トリップ失敗時に原子炉を未臨界にするための1次冷却材のほう素濃度の調整</p> <p>原子炉トリップ失敗時の1次冷却材のほう素濃度調整として、炉心に十分な量のほう酸水を注入する。</p>

(注1) 既工事計画書の記載を整理し、記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け49資庁第271号にて認可された工事計画の添付資料3「制御能力計算書」による。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉保護装置」と記載。

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「原子炉保護装置」による。

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の制御方式および制御方法「安全注入信号」による。

25

8 工学的安全施設等の作動信号の種類、検出器の種類、個数及び取付箇所、工学的安全施設等の作動に要する信号の個数及び設定値並びに工学的安全施設等の作動信号を発信させない条件
 ・常設（原子炉トリップ失敗時に原子炉を安全に停止するための設備の作動信号）

変更前					変更後									
工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件				工学的安全施設等の作動信号を発信させない条件	工学的安全施設等の作動信号の種類	検出器及び作動条件			工学的安全施設等の作動に要する信号の個数	設定値	工学的安全施設等の作動信号を発信させない条件		
	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の作動に要する信号の個数			設定値	検出器の種類	個数				取付箇所	
						補助給水ポンプ起動信号	蒸気発生器水位異常低	(注1) A蒸気発生器 狭域水位 検出器	1	系 統 名 (ラ イ ン 名) A蒸気発生器 設 置 床 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		2	計器スパンの 7%以上 かつ 11%以下	正常に補助給水ポンプが起動した場合、自動で補助給水ポンプ起動信号が阻止される。
					(注1) B蒸気発生器 狭域水位 検出器			1	系 統 名 (ラ イ ン 名) B蒸気発生器 設 置 床 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ					
					(注1) C蒸気発生器 狭域水位 検出器			1	系 統 名 (ラ イ ン 名) C蒸気発生器 設 置 床 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ					
					タービントリップ信号 主蒸気ライン隔離信号					(注2)				正常に原子炉トリップした場合、自動でタービントリップ信号及び主蒸気ライン隔離信号が阻止される。

(注1) 本設備は既存の原子炉非常停止信号の検出器であり、工学的安全施設等の作動信号として本工事計画で兼用とする。

(注2) 補助給水ポンプ起動信号と同じ。

26

別添2
(令和5年4月18日)

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-19

令和5年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-19

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年7月15日
至 令和5年3月15日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第 47号(平成30年 4月20日) 関原発第203号(平成30年 7月 4日) 関原発第260号(平成30年 8月20日) 関原発第416号(平成30年12月 5日) 関原発第505号(平成31年 2月 1日) 関原発第513号(平成31年 2月 6日) 関原発第 4号(平成31年 4月 4日) 関原発第 69号(2019年 5月16日) 関原発第116号(2019年6 月24日) 関原発第205号(2019年 8月23日) 関原発第511号(2020年 1月31日) 関原発第543号(2020年 2月26日) 関原発第618号(2020年 3月24日) 関原発第 23号(2020年 4月 7日) 関原発第 23号(2021年 4月30日) 関原発第293号(2021年 8月 2日) 関原発第562号(2022年 2月28日) 関原発第585号(2022年 3月15日) 関原発第137号(2022年 6月10日) 関原発第209号(2022年 7月 1日) 関原発第580号(2022年12月27日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 7月15日</p>	<p>良</p>	<p>種市 隆人 宇野 正登 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> 電気主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> </p>	<p>なし</p>

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和3年7月15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良 —	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良 —	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良 —	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和3年 7月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和3年 7月 15日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 計測装置 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">良</div>	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 記録確認 <small>※1</small> </div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0922 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：原子炉格納容器水位（電極式水位検出器）について記録確認を実施。			

設備概要

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

6 計測装置に係る次の事項

(8) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

変更前 ^(注1)						変更後					
名称	種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
格納容器サブB 広域水位	差圧式水位検出器	0~100%	—	2	系統名 (ライン名) 格納容器サブB ^(注2)	変更なし					変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号
格納容器サブB 狭域水位	差圧式水位検出器	0~100%	—	2	系統名 (ライン名) 格納容器サブB ^(注2)	変更なし					変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
						原子炉格納容器 水位	電極式水位 検出器			1対 (2本)	格納容器 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
						原子炉下部 キャビティ水位	電極式水位 検出器			1対 (2本)	原子炉下部 キャビティ 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注3) 水位が検出器に到達した場合にONになる。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 10 日	良	江頭 豊 増本 豊	京電用原子炉 主任技術者 	TJ1

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 5 年 3 月 10 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⓪・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⓪・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⓪・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 5年 3月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 5 年 3 月 10 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 計測装置 原子炉容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量を計測する装置 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">良</div>	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0707、T2-3-0721 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

工事計画本文（原規規発第1606104号（平成28年6月10日可））

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

6 計測装置に係る次の事項

(2) 原子炉容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

(1/3)

変更前					変更後						
名	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
1次冷却材圧力	弾性圧力検出器	0~20.6MPa[gage]	-	2	系統名 (ライン名) A、Bループ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					設置床						
1次冷却材高温側温度 (広域)	測温抵抗体	0~370℃	-	3	系統名 (ライン名) A、B、Cループ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					設置床						
1次冷却材低温側温度 (広域)	測温抵抗体	0~370℃	-	3	系統名 (ライン名) A、B、Cループ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					設置床						
1次冷却材高温側温度 (狭域)	測温抵抗体	277~343℃	277~343℃	9	系統名 (ライン名) A、B、Cループ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	12	変更なし
					設置床						

変更前					変更後						
名	(注1) 検出器の種類	(注2) 計測範囲	(注2) 警報動作範囲	(注3) 個数	(注4) 取付箇所	名	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
1次冷却材低温側温度 (狭域)	測温抵抗体	266~332℃	266~332℃	3	系統名 (ライン名) A、B、Cループ	変更なし				4	変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
1次冷却材流量	差圧式流量 検出器	0~120% (100% =20,100m ³ /h)	0~120%	9	系統名 (ライン名) A、B、Cループ	変更なし				12	変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
低温側安全注入流量	差圧式流量 検出器	0~250m ³ /h	-	1	系統名 (ライン名) 安全注入ライン	変更なし					変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
高温側安全注入流量	差圧式流量 検出器	0~250m ³ /h	-	1	系統名 (ライン名) 安全注入ライン	変更なし					変更なし
					設置床						溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ

13

変更前					変更後						
名	(注1) 検出器の種類	(注2) 計測範囲	(注3) 警報動作範囲	(注4) 個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
						恒設代替低圧注水ポンプ出口流量積算	差圧式流量検出器	0~150m ³ /h (0~10,000m ³ (注16))	-	1	系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
	余熱除去クーラ出口流量 (注20)	差圧式流量検出器 (注5)	0~1,000m ³ /h (注30)	0~1,000m ³ /h (注15)	2	系統名 (ライン名) 余熱除去クーラ出口					変更なし 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「項目」と記載
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「指示計」及び「記録計」の記載を削除
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「検出器設置場所」と記載
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-70kg/cm²G (記録計は0-240kg/cm²G)」と記載
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ループA」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材温度」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-370℃」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ループA、B、C高温側」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ループA、B、C低温側」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「平均温度ループA、平均温度ループB、平均温度ループC」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「277-332℃」と記載
- (注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。警報動作範囲は、計測範囲と同じ
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書にはループごとに「2」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ループA、ループB、ループC」と記載

: 検査対象範囲

- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「温度差ループA、温度差ループB、温度差ループC」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-150% (0-55.5℃)」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却材流量ループA、1次冷却材流量ループB、1次冷却材流量ループC」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-120% (100%=20100m³/h)」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書にはループごとに「3」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全注入ライン流量 (ほう酸注入タンク経由)」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-215m³/h」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全注入ラインヘッド」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全注入ライン流量」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0~225m³/h」と記載
- (注28) 積算流量の計測範囲
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ループ流量」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0-1000m³/h」と記載

(4) 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

変更前						変更後							
名	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所		
格納容器圧力	弾性圧力検出器	0~490kPa [gage]	0~490kPa [gage]	4	系統名 (ライン名) 格納容器	変更なし	弾性圧力 検出器	0~1MPa [gage]	-	1	変更なし		
					設置床						格納容器 広域圧力	設置床	格納容器 (ライン名)
												溢水防護上の 区画番号	格納容器 -
格納容器内温度	測温抵抗体	0~220℃	-	1	系統名 (ライン名) 格納容器 設置床 原子炉格納容器 E.L.+32.3m	変更なし	-	-	2	変更なし			

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「項目」と記載

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「指示計」及び「記録計」の記載を削除

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「検出器設置場所」と記載

: 検査対象範囲

(7) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

変更前					変更後						
名称	種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
						内部スプレ流量積算	差圧式流量検出器	0~1,000m ³ /h (0~10,000m ³ (注1))	-	1	系統名 (ライン名) A内部 スプレライン 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ
						原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口流量積算	差圧式流量検出器	0~150m ³ /h (0~10,000m ³ (注1))	-	1	系統名 (ライン名) 原子炉下部 キャビティ注水 ライン 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ

(注1) 積算流量の計測範囲

: 検査対象範囲

工事計画本文（関原発第121号（平成30年5月24日）にて軽微変更届出）

（13）原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・常設

変更前							変更後												
名	称	種	類	計	測	範	圍	警	報	動	作	個	取	付	箇	所			
内部スプレ流量積算	差圧式流量 検出器	0~1,000m ³ /h (0~10,000m ³ (注1))	-	1	系	統	名	A内部 スプレライン	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
					(ラ	イ											ン	名)
					設	置	床												
					溢	水	防											護	上
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ						
原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口流量積算	差圧式流量 検出器	0~150m ³ /h (0~10,000m ³ (注1))	-	1	系	統	名	原子炉下部 キャビティ注水 ライン	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
					(ラ	イ											ン	名)
					設	置	床												
					溢	水	防											護	上
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ						

(注1) 積算流量の計測範囲

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-19

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 15 日	良	平井 隆 渋谷 徹	茶電用原子炉 主任技術者 	なし

19

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号: 1-19

検査年月日: 令和 5 年 3 月 15 日

検査場所: 関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 5 年 3 月 15 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-19

検査年月日：令和 5 年 3 月 15 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 計測装置 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0712 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

計測制御系統施設

6 計測装置に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・可搬型

変更前						変更後					
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
						可搬型格納容器内水素濃度計測装置	熱伝導式	0~20vol%		1 (予備)	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]

: 検査範囲

計測制御系統施設

6 計測装置に係る次の事項

(9) 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

・可搬型

変更前						変更後							
名	体	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所	名	体	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	個数	取付箇所
							可搬型アニュラス内水素濃度計測装置		熱伝導式	0~20vol%		1 (予備1)	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]

: 検査範囲

24/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 1-20

令和 5 年 4 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-20

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月24日
至 令和5年4月7日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第4号 (平成31年4月4日) 関原発第69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月 7日) 関原発第 23号 (2021年4月30日) 関原発第 293号 (2021年 8月 2日) 関原発第 562号 (2022年 2月 28日) 関原発第 585号 (2022年 3月 15日) 関原発第 137号 (2022年 6月 10日) 関原発第 209号 (2022年 7月 1日) 関原発第 580号 (2022年 12月 27日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和3年 3月24日	良	須貝 実	発電用原子炉 主任技術者  ボイラー-タービン主任技術者 	なし

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年 3月 24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年 3月 24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	◎立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年 3月 24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 安全弁 2個 別添1に示す範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 20px; margin: 5px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 20px; margin: 5px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">記録確認*</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0113（その2） * 検査対象のうち安全弁（予備）について確認 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年3月24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
2V-N2V-307 (予備を除く1個)	性能検査	別紙2参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和 3 年 3 月 2 4 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査 性能検査	圧力計				2020. 9. 3	
					2021. 9. 2	
系統性能検査 性能検査	圧力計				2020. 5. 27	
					2021. 5. 26	
以下余白						

項目 (単位)	工事計画 記載値	許容値	確認値
吹出圧力 (MPa)			0.822
吹出量 (kg/h)			819

※1：許容値はJISによる。

※2：許容値は工事計画による。

令和 3 年 3 月 2 4 日

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 (平成 28 年 6 月 10 日認可))

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。) にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

		変 更 前	変 更 後
名 称			2V-N2V-307
種 類	—		非平衡形
吹 出 圧 力	MPa		0.83
吹 出 量	kg/h/個		370 以上
主 要 寸 法	呼 び 径	mm	20 (注1)
	の ど 部 の 径	mm	13 (注1)
	弁 座 口 の 径	mm	
	リ フ ト	mm	
材 料 (弁 箱)	—		SUSF316
個 数	—		1 (予備1)
取 付 箇 所	—		保管場所： [] 取付箇所： []

(注1) 公称値

令和 3 年 3 月 2 4 日

工事計画本文 (関原発第 123 号 (平成 30 年 5 月 24 日) にて軽微変更届出)

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。) にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名 称			2V-N2V-307	変更なし
種 類	—	非平衡形		
吹 出 圧 力	MPa	0.83		
吹 出 量	kg/h/個	370 以上		
主 要 寸 法	呼 び 径	mm	20 (注1)	
	の ど 部 の 径	mm		
	弁 座 口 の 径	mm		
	リ フ ト	mm	3 (注1)	
材 料 (弁 箱)			SUSF316	
個 数			1 (予備1)	
取 付 箇 所			保管場所 : []	保管場所 : []
			取付箇所 : []	取付箇所 : []

(注1) 公称値

: 検査対象範囲

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 7月14日</p>	<p>良</p>	<p>種市 隆人 宇野 正登 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラ-タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年7月14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年 7月 14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和3年 7月 14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 容器、主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 系統機能検査 系統構成確認検査 容量確認検査 通気検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">良</div>	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">記録確認</div> ※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0116 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：窒素ポンベ（アニュラス換気弁等作動用） ホース接続口（AJB No.53 入口窒素供給配管～弁（2V-6291）） 窒素ポンベ（アニュラス排気弁等作動用）～ホース先端 アニュラス排気弁等用制御用空気ライン窒素供給用 mフレキシブルホース について記録確認を実施。			

令和 3 年 7 月 1 4 日

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 (平成 28 年 6 月 10 日認可))

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。)

にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

- (2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所・可搬型

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—	—	窒素ポンベ (アニュラス排気弁等作動用) 一般継目なし鋼製容器
容 量 (注1)	ℓ/個	—	[REDACTED]
最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa	—	
最 高 使 用 温 度 (注1)	℃	—	
主 要 寸 法	外 径	mm	
	高 さ	mm	
	胴 部 厚 さ	mm	
	底 部 厚 さ	mm	
材 料	—	—	
個 数	—	1 (予備1)	
取 付 箇 所	—	保管場所： [REDACTED] 取付箇所： [REDACTED]	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

□ : 検査対象範囲

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

名称	変更前				材料	名称	変更後				材料	
	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)			最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)		
						制御用 空気設備	ホース接続口 (AJB NO. 53 入口窒素供給配管) ～ 弁(2V-6291)	(注5) 0.83	(注5) 50	(注3) 34.0	(注3) 3.4	STPT370

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口の仕切弁～格納容器内逆止弁(2-6204A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注5) 重大事故等時における使用時の値

(注6) 本設備は既存の設備である。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～計器用補助空気そう」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用補助空気そうラインへの分岐点～主蒸気大気放出弁および補助給水用弁」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～中間建屋および補助建屋」と記載

(注10) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注11) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(次ページに続く)

17

□ : 検査対象範囲

(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注13) エルボを示す。

(注14) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

・可搬型

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
制御用空気設備		(注1) 0.83	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注9) : [Redacted]
	窒素ポンペ (アニュラス排気弁等 作動用)			(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所 : [Redacted]
	ホース先端	(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	

: 検査対象範囲

(次ページに続く)

19

変更前	変更後						取付箇所
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
制御用空気設備	アニュラス 排気弁等用 制御用空気ライン 窒素供給用 フレキシブルホース	(注1) 0.83	(注1) 50	(注4) 20A	(注5) —	SUS304	保管場所 (注10): [Redacted] 取付箇所: [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 当該マニホールド■台 (必要台数: 1台に (A系)、(B系) 共用の予備1台を加えた数量) 以上を保管する。

(注4) メーカーにて規定する外径を示す。

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注6) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本を加えた数量) 以上を保管する。

(注7) 当該ホース■本 (必要本数■本 (A系): ■本、■本 (B系): ■本に予備■本; ■本を加えた数量) 以上を保管する。

(次ページに続く)

□ : 検査対象範囲

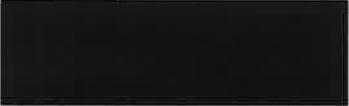
(注8) 当該ホース■本（必要本数に予備■本を加えた数量）以上を保管する。

(注9) 当該マニホールド■台（必要台数に予備■台を加えた数量）以上を保管する。

(注10) 当該ホース■本（必要本数に予備■本を加えた数量）以上を保管する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和5年 3月31日	良	森谷 徹 宇野 正登	発電用原子炉 主任技術者  ホイラー・タビン 主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和5年 3月 31日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和5年 3月31日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和5年 3月31日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 安全弁 2個（予備1個） 別添1に示す範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 系統機能検査 （安全弁吹出し検査） （容量確認検査）	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0714（その2） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日））

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名 称				2V-N2V-400A、B
種 類	—			非平衡形
吹 出 圧 力	MPa			0.98
吹 出 量	kg/h/個			430 以上
主 要 寸 法	呼 び 径	mm	—	[Redacted]
	の ど 部 の 径	mm		
	弁 座 口 の 径	mm		
	リ フ ト	mm		
材 料 (弁 箱)		—		
個 数		—		
取 付 箇 所		—		保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]

(注1) 公称値



検査範囲

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-20

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 4 月 6、7 日	良	須貝 実 江頭 豊	ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和5年 4月6.7日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1 - 2 0

検査年月日：令和 5 年 4 月 6, 7 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-20

検査年月日：令和5年4月6、7日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 容器 主配管 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・容量確認検査 ・通水検査（通気検査） 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0714（その1） T2-3-0714（その3） T2-3-0714（その4） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1 - 20

検査年月日：令和5年4月7日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
計測制御系統施設 制御用空気設備 圧縮機 容器 主配管	系統機能検査 ・通水検査（通気検査）	—	良	目視※1
	系統性能検査 ・運転性能検査	別添3参照	良	
以下余白				
備考 ※1：検査範囲の詳細については、別添2参照				

変更認可申請前 (原規規発第1606105号 平成28年6月10日)

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。) にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(1) 圧縮機の名称、種類、容量、吐出圧力、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

				変 更 前	変 更 後	
名 称					可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用)	
圧縮機	種 類	—			往復式	
	容 量 ^(注1)	m ³ /h/個			[Redacted]	
	吐 出 圧 力 ^(注1)	MPa				
	主要寸法	た て	mm			
		横	mm			
		高 さ	mm			
	個 数	—			2 (予備1)	
原動機	種 類	—			三相誘導電動機	
	出 力	kW/個			[Redacted]	
	個 数	—			2 (予備1)	
取 付 箇 所					保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

…検査対象範囲

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所
 ・可搬型

			変更前	変 更 後
名 称				(注1) 空気だめ (加圧器逃がし弁作動用)
種 類	—			横置円筒形
容 量	(注2)	m ³ /個		0.080 以上 (0.080 (注3))
最 高 使 用 圧 力	(注2)	MPa		1.05
最 高 使 用 温 度	(注2)	℃		50
主 要 寸 法	直 径	mm		290 (注3)
	全 長	mm		1,280 (注3)
材 料	胴 板	—		SS400
個 数	—			1 (注4)
取 付 箇 所	—			

(注1) 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) の1台当りの個数を示す。

□…検査対象範囲

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				増圧装置空気だめ
種 類		—		横置円筒形
容 量	(注1)	m ³ /個		2 (予備1)
最 高 使 用 圧 力	(注1)	MPa		
最 高 使 用 温 度	(注1)	℃		
主 要 寸 法	直 径	mm		
	全 長	mm		
材 料	胴 板	—		
個 数		—		
取 付 箇 所		—		保管場所： [REDACTED]
				取付箇所： [REDACTED]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

…検査対象範囲

・可搬型

		変更前	変更後	
名称			窒素ポンベ (加压器逃がし弁作動用)	
種類		—	一般継目なし鋼製容器	
容量 ^(注1)		ℓ	保管場所： [REDACTED] 取付箇所： [REDACTED]	
		ℓ/個		
最高使用圧力 ^(注1)		MPa		
最高使用温度 ^(注1)		℃		
主要寸法	外径			mm
	高さ			mm
	胴部厚さ			mm
	底部厚さ			mm
材料		—		
個数		—		
取付箇所		—		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ3個を使用して、90.8ℓ以上とする。

(注3) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ7個を使用して、278.4ℓ以上とする。

(注4) 公称値

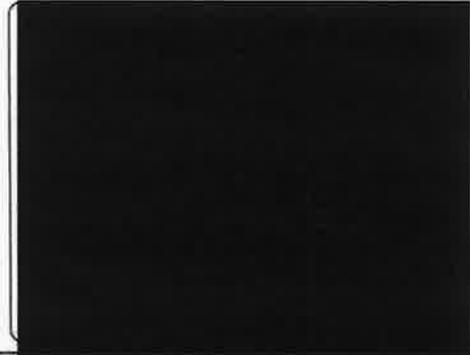
□…検査対象範囲

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	制御用空気設備	(注1) 0.98	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注3) : [Redacted]
		(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所 : [Redacted]
				(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	
窒素ポンベ (加圧器逃がし弁 作動用(A系)) ～ ホース先端							

37

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
制御用 空気設備	窒素ポンベ (加圧器逃がし弁 作動用(B系)) ～ ホース先端	(注1) 0.98	(注1) 50	(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T	保管場所 (注3): 
		(注1) 17.16	(注1) 50	(注2) 8.0	(注2) 2.0	C1220T	取付箇所: 
		(注2) 22.0	(注2) 5.0	C1220T			

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
制御用空気設備	可搬式空気圧縮機 ラインマニホールド 接続用 ■ mホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 6A	(注5) —	合成ゴム	保管箇所 (注6) : ■■■■■ 取付箇所 : ■■■■■
	可搬式空気圧縮機 ラインマニホールド 接続用 ■ mホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 6A	(注5) —	合成ゴム	保管箇所 (注6) : ■■■■■ 取付箇所 : ■■■■■

□…検査対象範囲

39

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 可搬式空気圧縮機 ラインマニホールド 接続用 ■mm(A系)、■mm(B系) ホース </div>	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 19A	(注5) -	合成ゴム	保管箇所 (注7) : <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%;"></div> 取付箇所 : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: black; height: 150px; width: 100%;"></div>

□…検査対象範囲

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
—	制御用空気設備 加圧器逃がし弁用 制御用空気ライン 窒素供給用 〇mホース	(注1) 0.98	(注1) 50	(注4) 19A	(注5) —	合成ゴム	保管場所 (注8) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

□…検査対象範囲

41

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
—	制御用空気設備 アニュラス 排気弁等用 制御用空気ライン 窒素供給用 フレキシブルホース	(注1) 0.83	(注1) 50	(注4) 20A	(注5) —	SUS304	保管場所 (注10) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 当該マニホールト 〇 台 (必要台数 : 〇 台に (A系) 、 (B系) 共用の予備 〇 台を加えた数量) 以上を保管する。

(注4) メーカーにて規定する外径を示す。

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注6) 当該ホース 〇 本 (必要本数に予備 〇 本を加えた数量) 以上を保管する。

(注7) 当該ホース 〇 本 (必要本数 〇 本 (A系) : 〇 本、 〇 本 (B系) : 〇 本に予備 〇 本 〇 本を加えた数量) 以上を保管する。

(注8) 当該ホース■本（必要本数に予備1本を加えた数量）以上を保管する。

(注9) 当該マニホールド■台（必要台数に予備■台を加えた数量）以上を保管する。

(注10) 当該ホース■本（必要本数に予備■本を加えた数量）以上を保管する。

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力 (MPa)	温度 (°C)					圧力 (MPa)	温度 (°C)			
<small>(注1)</small> 弁 (2MOV-6202、 6203) ~ 格納容器貫通部 PEN#332、378	<small>(注2)</small> 0.83	50	<small>(注3)</small> 60.3	<small>(注3)</small> 3.9	STPG42	制御用空気設備 変更なし	変更なし <small>(注5)</small> 0.98	変更なし <small>(注5)</small> 138	変更なし		
							<small>(注5)</small> 0.98	<small>(注5)</small> 138	<small>(注3,6)</small> (差し込み 部の内径)	<small>(注6)</small> (最小)	<small>(注6)</small> ASTM A105 Gr II <small>(注3)</small> (S25C 相当)
									61.1	6.0	

43

44

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
<small>(注1)</small> 制御用空気設備 弁 (2MOV-6202、 6203) ~ 格納容器貫通部 PEN#332、378						制御用空気設備 変更なし	<small>(注5)</small> 0.98	<small>(注5)</small> 138	<small>(注3, 6)</small> (最小) 6.0 (差し込み 部の内径) 61.1 / - / (差し込み 部の内径) 61.1 / - / 6.0)	<small>(注6)</small> (最小) 6.0 / - / (最小) 6.0 / (注3) (6.0 / - / 6.0)	<small>(注6)</small> ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

45

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> ホース接続口 (窒素供給連絡 配管上流(A系)) 及び ホース接続口 (窒素供給連絡 配管上流(B系)) ~ ホース接続口 (窒素供給連絡 配管下流(A系)) 及び ホース接続口 (窒素供給連絡 配管下流(B系)) </div>	(注5) 0.98	(注5) 50	(注3) 27.2	(注3, 11) 2.9	STPT370

制御用空気設備

□…検査対象範囲

46

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						制御用 空気設備			(注3) 27.2	(注3) 2.9	STPT370
							(注5) 0.98	(注5) 50	(注3) 21.4	(注3) 4.3	S25C
								(注3) 21.4	(注3) 4.3		

□…検査対象範囲

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						制御用空気設備 弁(2V-6204A、B) ～ 弁(2V-6269B、C)	(注5) 0.98	(注5) 138	(注3) 60.5 / - / 60.5	(注3) 3.9 / - / 3.9	STPT370

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口の仕切弁～格納容器内逆止弁(2-6204A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注5) 重大事故等時における使用時の値

(注6) 本設備は既存の設備である。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～計器用補助空気そう」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用補助空気そうラインへの分岐点～主蒸気大気放出弁および補助給水用弁」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用空気乾燥器A、B出口ライン分岐点～中間建屋および補助建屋」と記載

(注10) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注11) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注13) エルボを示す。

(注14) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

軽微変更届出後（関原発第123号 平成30年5月24日）

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
制御用空気設備 弁(2MOV-6202、 6203) ～ 格納容器貫通部 PEN#332、378 *	0.83 (注5)	50 (注5)	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPG42	制御用空気設備 変更なし					
	0.98	138	(注3,16)	(注16)	(注16)						
	0.83 (注5)	50 (注15)	(差し込み 部の内径)	(最小)	ASTM A105						
	0.98 (注5)	138 (注5)	61.1	6.0 (注3)	Gr II (S25C 相当)						

* 2022年2月28日付け関原発第562号の申請を行った範囲を除く。

□…検査対象範囲

49

50

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
制御用空気設備 弁(2MOV-6202、 6203) ~ 格納容器貫通部 PEN#332、378 *	(注15)	(注15)	(注3, 16)	(注16)	(注16) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)	制御用空気設備	変更なし				
	0.83	50	61.1	6.0							
	(注5)	(注5)									
	0.98	138	(差し込み 部の内径) 61.1	(最小) 6.0							
			(差し込み 部の内径) 61.1	(注3) (6.0)							
				6.0							

* 2022年2月28日付け関原発第562号の申請を行った範囲を除く。

□…検査対象範囲

(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注13) エルボを示す。

(注14) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注15) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注16) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更後に記載

変更認可申請後（原規規発第1808064号 平成30年8月6日）

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注1) 個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
制御用空気設備 窒素ポンペ (加压器逃がし弁作動用 (A系)) ～ ホース先端	(注2) 0.98	(注2) 50	(注3) 22.0	(注3) 5.0	C1220T	(注4) 1 (予備1)	保管場所： [黒塗り]	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
	(注2) 17.16	(注2) 50	(注3) 8.0	(注3) 2.0	C1220T		取付箇所： [黒塗り]								
	(注2) 17.16	(注2) 50	(注3) 22.0	(注3) 5.0	C1220T										
								(注2) 17.16	(注2) 50	(注5) 15A	(注6) -	(注7) SUS304 PFA			

□…検査対象範囲

52

53

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注1) 個数	取付箇所	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付 箇所
制御用空気設備 窒素ポンペ (加圧器逃が し弁作動用 (B系)) ～ ホース先端	(注2) 0.98	(注2) 50	(注3) 22.0	(注3) 5.0	C1220T	(注4) 1 (予備1)	保管場所： 	変更 なし	変更 なし	変更 なし	変更 なし	変更 なし	変更 なし	変更 なし	変更 なし
	(注2) 17.16	(注2) 50	(注3) 8.0	(注3) 2.0	C1220T		取付箇所： 								
	(注2)	(注2)	(注3)	(注3)	C1220T										
	(注2) 17.16	(注2) 50	(注5) 15A	(注6) —	(注7) SUS304 PFA										

(注1) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注2) 重大事故等時における使用時の値

□…検査対象範囲

(注3) 公称値

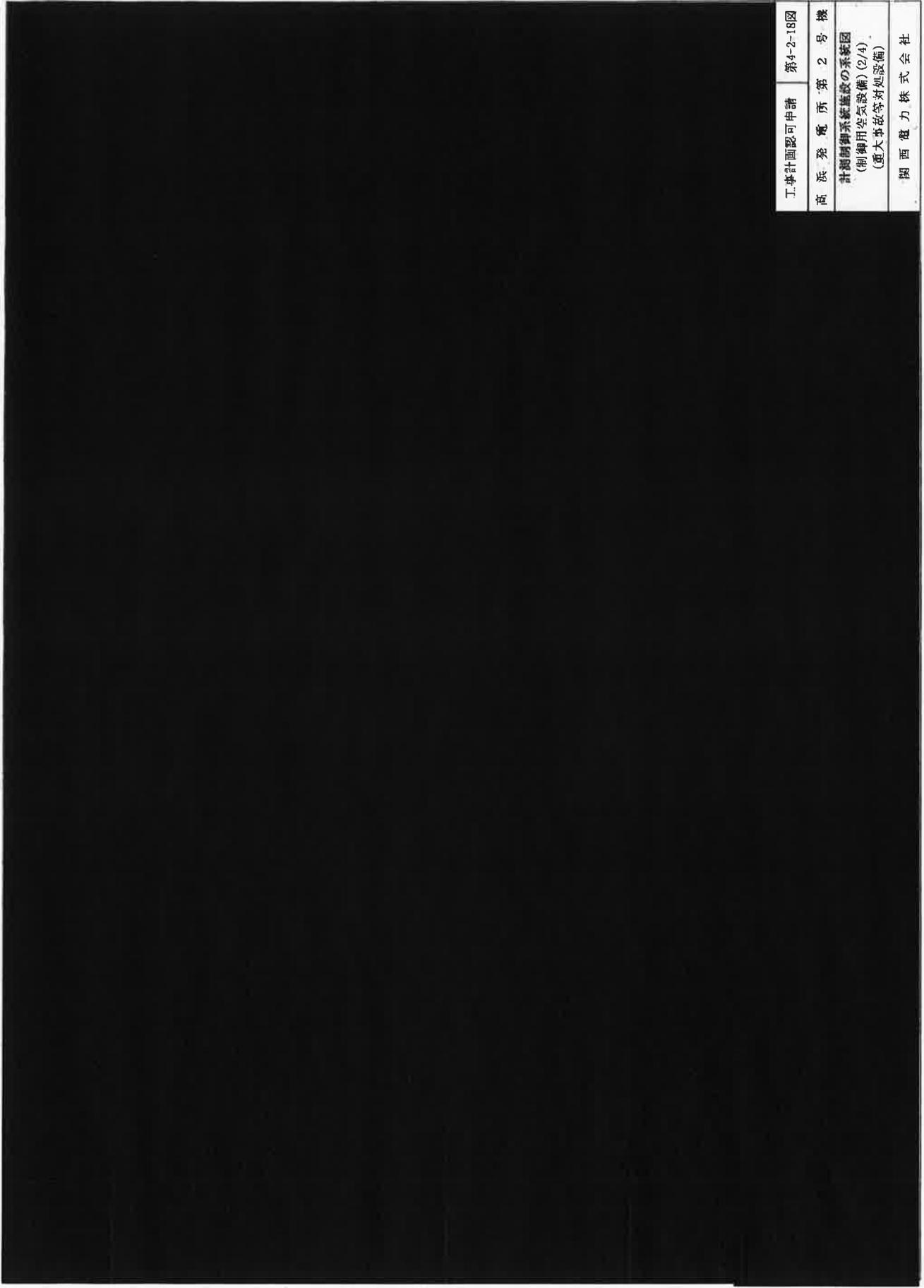
(注4) A系、B系共用の予備を加えた数量

(注5) メーカーにて規定する外径を示す。

(注6) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注7) 本設備は ■■■■ mフレキシブルホースである。

工事計画認可申請	第4-2-18図
高圧送電所	第2号機
計測制御系統図の系統図 (制御用空気設備) (2/4) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	



運転性能検査記録

確認対象	空気供給源	弁動作方向	確認方法	結果	備考
A加圧器逃がし弁 2PCV-445	窒素ポンペ (加圧器逃し弁作動用 (A系))	閉→開	目視	良	
	A可搬式空気圧縮機 (加圧器逃し弁作動用)	閉→開	目視	良	
備考					

56/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-21

令和5年2月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-21

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年2月21日
至 令和5年2月22日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第321号 (平成28年10月 7日)
	関原発第435号 (平成30年 3月20日)
	関原発第 47号 (平成30年 4月20日)
	関原発第203号 (平成30年 7月 4日)
	関原発第260号 (平成30年 8月20日)
	関原発第416号 (平成30年12月 5日)
	関原発第505号 (平成31年 2月 1日)
	関原発第513号 (平成31年 2月 6日)
	関原発第 4号 (平成31年 4月 4日)
	関原発第 69号 (2019年 5月16日)
	関原発第116号 (2019年 6月24日)
	関原発第205号 (2019年 8月23日)
	関原発第511号 (2020年 1月31日)
	関原発第543号 (2020年 2月26日)
	関原発第618号 (2020年 3月24日)
	関原発第 23号 (2020年 4月 7日)
	関原発第 23号 (2021年 4月30日)
	関原発第293号 (2021年 8月 2日)
	関原発第562号 (2022年 2月28日)
	関原発第585号 (2022年 3月15日)
	関原発第137号 (2022年 6月10日)
	関原発第209号 (2022年 7月 1日)
	関原発第580号 (2022年12月27日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-2.1

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者	特記事項
令和5年 2月21日 22	良	渋谷 徹 吉村 直樹	茶電用原子炉 主任技術者 	なし

u

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年 2月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年 2月 22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年 2月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 可搬式使用済燃料ピット区域 周辺エリアモニタ(別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 校正検査 (計測範囲確認検査) (線源校正検査)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0812 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年 2月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	検査項目	測定値等	検査結果	検査方法
放射線管理施設 放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 可搬式使用済燃料ピット区域 周辺エリアモニタ (別添1参照)	性能検査 校正検査 (計測範囲確認検査) (線源校正検査)	別添3参照	良	目視 (※)
備考 ※可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ(2RE-T5A)(北側) 測定処理装置(2RM-T5)チャンネルA側について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年2月21日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
計測範囲確認 検査	ファンク ション/ 任意波形 発生器				2022.09.20 2024.09.19	
線源校正検査	ストップ ウォッチ				2020.07.30 2023.07.29	

検査項目	使用標準 線源	管理番号	線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	値付日	備考
線源校正検査	^{137}Cs			2022.5.27	
線源校正検査	^{137}Cs			2022.5.27	
線源校正検査	^{137}Cs			2022.5.27	
以下余白					

設備概要

放射線管理施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

- 1 放射線管理用計測装置に係る次の事項
- (2) エリアモニタリング設備に係る次の事項

ホ 使用済燃料貯蔵槽エリアの線量当量率を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所及び個数

・可搬型

変更前					変更後						
名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数	名称	検出器の種類	計測範囲	警報動作範囲	取付箇所	個数
						可搬式使用済燃料ピット 区域周辺エリアモニタ	半導体式	0.01mSv/h ～ 100mSv/h		保管場所： [黒塗り] 取付箇所： [黒塗り]	2 台

(注1) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

6

性能検査（校正検査（計測範囲確認検査））記録

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年2月21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

確認項目		計測範囲 確認計器	標準入力		指示値		検査結果	確認方法	
			工学値	模擬入力	基準値	許容誤差範囲 (基準値±2%以内)			表示値
			mSv/h	kHZ	mSv/h	mSv/h			mSv/h
可搬式 使用済燃料ピット区域 周辺エリアモニタ (2RE-T5A) (北側) 測定処理装置 (2RM-T5) チャンネルA側	1.00×10^{-2} ~ 1.00×10^2 mSv/h	SA監視 操作盤	1.00×10^{-2}	5.144×10^{-3}	1.00×10^{-2}	$1.00 \times 10^{-2} \text{ ※1} \sim 1.25 \times 10^{-2}$	1.02×10^{-2}	良	目視
			1.00×10^{-1}	6.202×10^{-2}	1.00×10^{-1}	$7.95 \times 10^{-2} \sim 1.25 \times 10^{-1}$	1.03×10^{-1}		
			1.00×10^0	6.501×10^{-1}	1.00×10^0	$7.95 \times 10^{-1} \sim 1.25 \times 10^0$	1.04×10^0		
			1.00×10^1	5.003×10^0	1.00×10^1	$7.95 \times 10^0 \sim 1.25 \times 10^1$	1.04×10^1		
			1.00×10^2	3.619×10^1	1.00×10^2	$7.95 \times 10^1 \sim 1.00 \times 10^2 \text{ ※1}$	1.00×10^2		

※1：SA監視操作盤の許容誤差範囲は、 1.00×10^{-2} 未満と 1.00×10^2 超過において表示機能上の許容誤差がないことによる。

性能検査（校正検査（線源校正検査））記録

成績書管理番号：1-21

検査年月日：令和5年 2月21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

確認項目	標準線源による 線量当量率	線源照射時 の線量当量率	線源照射による 正味の線量当量率 (注1)	許容誤差範囲 (±3.0%以内)	検査 結果	確認 方法
	mSv/h	mSv/h	mSv/h	mSv/h		
可搬式 使用済燃料ピット区域 周辺エリアモニタ (2RE-T5A) 測定処理装置 (2RM-T5) チャンネルA側	5.00×10^{-2}	4.870×10^{-2}	4.850×10^{-2}	$3.50 \times 10^{-2} \sim 6.50 \times 10^{-2}$	良	目視
	5.00×10^{-1}	4.650×10^{-1}	4.648×10^{-1}	$3.50 \times 10^{-1} \sim 6.50 \times 10^{-1}$		
	5.00×10^0	5.125×10^0	5.125×10^0	$3.50 \times 10^0 \sim 6.50 \times 10^0$		
	5.00×10^1	4.965×10^1	4.965×10^1	$3.50 \times 10^1 \sim 6.50 \times 10^1$		
	7.00×10^1	6.657×10^1	6.657×10^1	$4.90 \times 10^1 \sim 9.10 \times 10^1$		
	1.00×10^2	8.254×10^1	8.254×10^1	$7.00 \times 10^1 \sim 1.30 \times 10^2$		
備 考	標準線源： ^{137}Cs BG指示値： 2.001×10^{-4} mSv/h (注1)：線源照射による正味の線量当量率 = 線源照射時の線量当量率 - バックグラウンド指示値					

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉格納施設

系統名：圧力低減設備その他の安全設備

放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備

並びに格納容器再循環設備

再結合装置及び電熱器

原子炉格納容器水素燃焼装置

要領書番号：原規規収第1610072号1-23-1

令和元年 9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(2019年5月16日)
関原発第116号(2019年6月24日)
関原発第205号(2019年8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年9月18日
至 令和元年9月18日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

6 検査範囲

高浜発電所第2号機

発電用原子炉施設

原子炉格納施設

圧力低減設備その他の安全設備

放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納

容器再循環設備

再結合装置及び電熱器

原子炉格納容器水素燃焼装置 12個(予備1個(ドーム部頂部
付近用))

7 検査結果

検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 電気容量確認検査	良	令和元年9月18日	令和元年9月18日
		須貝 実 [REDACTED]	電気 主任技術者 [REDACTED]
		#	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録（電気容量確認検査）
- 3 検査用計器一覧表

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元 年 9 月 18 日	良	使用前検査成績書の「3検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元 年 9 月 18 日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

電気容量確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 9月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 9月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	令和元年 9月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機

性能検査記録（電気容量確認検査）

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備
 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
 再結合装置及び電熱器 原子炉格納容器水素燃焼装置：12個（予備1個（ドーム部頂部付近用））

判定基準：・電気容量が所定の性能を有すること。
 ・正常に動作すること。*2

対象機器	原子炉格納容器 水素燃焼装置抵抗 (Ω)	供給電圧 (V)	電気容量 (W/個)	確認値 (W/個)	検査年月日	検査 結果	検査 方法
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 1	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 2	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 3	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 4	25.79	132.22			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 5	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0904

※2：「原子炉格納容器水素燃焼装置のコイル部が発熱により赤色化すること」を確認する。

高浜発電所第2号機

性能検査記録（電気容量確認検査）

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備
 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
 再結合装置及び電熱器 原子炉格納容器水素燃焼装置：12個（予備1個（ドーム部頂部付近用））

判定基準：・電気容量が所定の性能を有すること。
 ・正常に動作すること。*2

対象機器	原子炉格納容器 水素燃焼装置抵抗 (Ω)	供給電圧 (V)	電気容量 (W/個)	確認値 (W/個)	検査年月日	検査 結果	検査 方法
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 6	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 7	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 8	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 9	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 10	25.71	132.11			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0904

※2：「原子炉格納容器水素燃焼装置のコイル部が発熱により赤色化すること」を確認する。

7

高浜発電所第2号機

性能検査記録（電気容量確認検査）

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備
 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
 再結合装置及び電熱器 原子炉格納容器水素燃焼装置：12個（予備1個（ドーム部頂部付近用））

判定基準：・電気容量が所定の性能を有すること。
 ・正常に動作すること。*2

対象機器	原子炉格納容器 水素燃焼装置抵抗 (Ω)	供給電圧 (V)	電気容量 (W/個)	確認値 (W/個)	検査年月日	検査 結果	検査 方法
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 11	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 12	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認
原子炉格納容器 水素燃焼装置 No. 13 (予備)	/	/			令和元年 9月18日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0904

※2：「原子炉格納容器水素燃焼装置のコイル部が発熱により赤色化すること」を確認する。

8

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年9月18日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
電気容量 確認検査	デジタルマ ルチメータ	[REDACTED]			2019. 4. 25	
	デジタルマ ルチメータ				2020. 4. 24	
	デジタルマ ルチメータ				2019. 4. 25	
	デジタルマ ルチメータ				2020. 4. 24	

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-23-2

令和4年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-23-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和4年12月23日
至 令和4年12月23日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

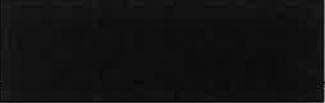
検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第 47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第 4号(平成31年4月4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 12 月 23 日	良	須貝 実 吾村 直樹	ホウライ タセツ 主任技術者  発電用原子炉主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日：令和4年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日：令和4年12月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日：令和 4 年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 再結合装置 静的触媒式水素再結合装置 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 触媒反応確認検査 触媒重量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い 製作され、据付けされ、所定の性 能を有しており、技術基準に適 合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 80px; height: 25px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">記録確認※²</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※1）による。 ※1 適合性確認検査成績書の識別番号：T 2 - 3 - 0 1 2 1 ※2 目視で確認した範囲を除く範囲について確認 ・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照			

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日：令和 4 年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
静的触媒式水素 再結合装置	触媒反応確認検査	-	良	目視*
備考 ※：静的触媒式水素再結合装置 FR1-380T-MB-040、FR1-380T-MB-041、 FR1-380T-MB-042、FR1-380T-MB-043、FR1-380T-MB-044 のうち FR1-380T-MB-043 の触媒プレート 3 枚 (G043 397、G043 407、G043 430) について 確認。				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-23-2

検査年月日：令和4年12月23日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
触媒反応 確認検査	ストップ ウォッチ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2021. 5. 18 2024. 5. 17	
触媒反応 確認検査	流量計				2020. 11. 24 2023. 11. 23	
触媒反応 確認検査	データ 表示機				2020. 11. 25 2023. 11. 24	
触媒反応 確認検査	入口ガス 温度計				2020. 11. 24 2023. 11. 23	
触媒反応 確認検査	触媒プレート 温度計				2020. 11. 24 2023. 11. 23	
備考						

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

ル 再結合装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、再結合効率、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに電熱器の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

			変更前	変更後
名称				静的触媒式水素再結合装置
種	類	—		静的触媒式
容	量	—		—
最高使用圧力		—		—
最高使用温度 ^(注1)		℃		500
再結合効率 ^(注1)		kg/h/個		1.2 (水素濃度 4vol%、圧力 0.15MPa[abs]) ^(注2)
再結合装置	横		mm	
	奥	行き	mm	
	高	さ	mm	
	材料	本体	—	
個		数	—	5
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)		—	静的触媒式水素再結合装置
	設 置 床		—	
	溢水防護上の 区 画 番 号		—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 再結合効率は、メーカー型式FRI-380Tの性能評価式の代表点での値

(注3) 公称値

: 検査対象範囲

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 1-24

令和 4 年 9 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-24

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和4年9月28日
至 令和4年9月29日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日)
	関原発第435号(平成30年3月20日)
	関原発第47号(平成30年4月20日)
	関原発第203号(平成30年7月4日)
	関原発第260号(平成30年8月20日)
	関原発第416号(平成30年12月5日)
	関原発第505号(平成31年2月1日)
	関原発第513号(平成31年2月6日)
	関原発第4号(平成31年4月4日)
	関原発第69号(2019年5月16日)
	関原発第116号(2019年6月24日)
	関原発第205号(2019年8月23日)
	関原発第511号(2020年1月31日)
	関原発第543号(2020年2月26日)
	関原発第618号(2020年3月24日)
	関原発第23号(2020年4月7日)
	関原発第23号(2021年4月30日)
	関原発第293号(2021年8月2日)
	関原発第562号(2022年2月28日)
	関原発第585号(2022年3月15日)
	関原発第137号(2022年6月10日)
	関原発第209号(2022年7月1日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-24

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和4年 9月28日 29日	良	須貝 実 吉村 直樹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-24

検査年月日：令和4年 9 月 28 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-24

検査年月日：令和4年 9月 28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-24

検査年月日：令和4年 9 月 29 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
非常用発電装置 B空冷式非常用発電 装置	運転性能検査	別添2	良	目視
	警報検査	不足電圧継電器、過電流 継電器を動作させ、しゃ 断器がトリップし警報 (重故障) が点灯するこ と。	良	
	インターロック 検査			
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-24

検査年月日：令和4年9月29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	電力計 RESI-MASTER 2400H				2021年5月20日 2023年5月19日	
運転性能検査	電圧計 RESI-MASTER 2400H				2021年5月20日 2023年5月19日	
運転性能検査	直尺				2022年2月3日 2023年2月2日	
運転性能検査	ストップウォッチ				2022年5月30日 2025年5月29日	
運転性能検査	回転速度				2022年9月21日 次回定検	
運転性能検査	冷却水温度				2020年9月21日 次回定検	
運転性能検査	潤滑油温度				2020年9月21日 次回定検	
運転性能検査	潤滑油圧力				2020年9月21日 次回定検	
運転性能検査	周波数				2020年9月21日 次回定検	

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

			変更前	変更後	
名称				空冷式非常用発電装置内燃機関	
種類	—			ディーゼル機関	
出力	kW/個			1,540	
回転速度	rpm			1,800	
燃料の種類	—			A重油	
燃料の使用量	ℓ/h/個			397	
個数	—			2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		A空冷式非常用発電装置内燃機関 A空冷式非常用発電装置	B空冷式非常用発電装置内燃機関 B空冷式非常用発電装置
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

: 検査対象範囲

(次ページへ続く)

過給機	種類	—		排気タービン式
	出口の圧力	kPa		173.2
	回転速度	rpm	—	90,000
	個数	—		8 (機関1台につき4)
	取付箇所	—		

: 検査対象範囲

ロ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類
(空冷式非常用発電装置)

名称			変更前	変更後
種	類	—		調速装置 電気式

名称			変更前	変更後
種	類	—		非常調速装置 電気式

 : 検査対象範囲

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

			変更前	変更後
名称				冷却水ポンプ
種類	—			遠心式
容量	ℓ/min/個			1,850 以上 (1,850 ^(注1))
個数	—			2 (機関1台につき1)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

: 検査対象範囲

(5) 発電機に係る次の事項

イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

			変更前	変更後	
名称				空冷式非常用発電装置	
種	類	—		防滴保護、空気冷却自己自由通風型	
容	量	kVA/個		1,825	
主要寸法	た	て	mm	2,326 (注1)	
	横		mm	1,753 (注1)	
	高	さ	mm	1,572 (注1)	
力	率	%		80 (遅れ)	
電	圧	V		6,600	
	相	—		3	
周	波	数	Hz	60	
回	転	速	度	rpm	1,800
結	線	法	—	星形	
冷	却	方	法	—	空冷
個	数	—		2	

: 検査対象範囲

13

取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	—	A空冷式非常用発電装置 —	B空冷式非常用発電装置 —
	設 置 床	—		[Redacted]	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

(注1) 公称値

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

			変更前	変更後	
名称				励磁装置	
種類	類	—		ブラシレス方式 (PMG付)	
容量	量	VA/個		78 (注1)	
個	数	—		2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	A励磁装置 A空冷式非常用発電装置	B励磁装置 B空冷式非常用発電装置
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

(注1) 励磁機界磁の値

: 検査対象範囲

15

ハ 保護継電装置の名称及び種類

(空冷式非常用発電装置)

	変更前	変更後
名称		遮断器盤
種類	-	不足電圧継電器
		過電圧継電器
		過電流継電器

 : 検査対象範囲

二 原動機との連結方法
(空冷式非常用発電装置)

	変更前	変更後
連結方法	—	直結

 : 検査対象範囲

B 空冷式非常用発電装置 運転性能検査

確認項目	機関出力 (kW) ※1、※3	発電機出力 (kW) ※3	発電機容量 (kVA) ※2	発電機電圧 (V) ※5			発電機周波数 (Hz)	発電機回転速度 (rpm) ※4	シリンダ冷却水温度 (°C) ※4	エンジン潤滑油圧力 (kPa)	エンジン潤滑油温度 (°C) ※4	燃料の使用量 (ℓ/h)	運転状態	備考
				R-S	S-T	T-R								
工事計画記載値	1540	—	1825	6600			60	1800	—	—	—	397	—	
許容値	1540 以上	1460 以上	1825 以上	6600±330			60± 1.2	1,800± 36	100.5 以下	450 以上	109.5 以下	397+5% 以下	—	
運転時間※6	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値 ※7	354 良	
0分	1544	1469.0	1836	6546	6558	6554	60.0	1799	74.1	650	92.4			
10分	1544	1469.0	1836	6548	6558	6554	60.0	1800	75.2	658	96.2			
20分	1543	1467.4	1834	6544	6554	6554	60.0	1800	76.7	653	97.5			
30分	1544	1469.1	1836	6542	6554	6552	60.0	1801	77.0	652	98.4			
40分	1544	1468.9	1836	6544	6554	6550	60.0	1800	76.6	654	98.1			
50分	1544	1468.4	1835	6542	6552	6551	60.0	1800	76.6	655	98.1			
60分	1543	1467.7	1834	6540	6551	6549	60.0	1800	77.2	653	98.6			

※1：算出式：機関出力 (kW) = 発電機出力 (kW) / 発電機効率 0.951

※2：算出式：発電機容量 (kVA) = 発電機出力 (kW) / 力率 0.8

※3：過給機の出口圧力 173.2kPa、回転速度 90,000min⁻¹ の代替検査

※4：冷却水ポンプ容量 1,850ℓ/min の代替検査

※5：励磁装置容量 78VA の代替検査

※6：100%定格での運転時間

※7：算出式：燃料の使用量 (ℓ/h) = 1.554 (m²) × 1時間当たりの油面低下量 (m) × 1000

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：非常用電源設備

その他の電源装置（非常用のものに限る。）

無停電電源装置

要領書番号：原規規収第1610072号1-25-1

令和3年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
- 4 検査期日 自 平成30年10月12日
至 令和3年3月26日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
三菱電機株式会社 電力システム製作所
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
非常用電源設備
その他の電源装置(非常用のものに限る。)
無停電電源装置
SA監視計器用電源 1個
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
外観検査		年 月 日	年 月 日
		印	主任技術者 印
警報保護装置検査	良	平成 30 年 10 月 12 日	平成 30 年 10 月 12 日
		上田 洋 環境技官 河田 拓也	電気 主任技術者
系統運転性能検査		年 月 日	年 月 日
		印	主任技術者 印

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- ~~2 外観検査記録~~
- 3 警報保護装置検査
- ~~4 系統運転性能検査~~
- ~~5 検査用計器一覧表~~

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
外観検査	良	令和3年3月26日	令和3年3月26日
		上田洋 <small>印</small> <small>印</small>	電気 主任技術者 <small>印</small>
警報保護装置検査	良	令和3年3月26日	令和3年3月26日
		上田洋 <small>印</small> <small>印</small>	電気 主任技術者 <small>印</small>
系統運転性能検査	良	令和3年3月26日	令和3年3月26日
		上田洋 <small>印</small> <small>印</small>	電気 主任技術者 <small>印</small>

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 外観検査記録
- 3 警報保護装置検査
- 4 系統運転性能検査
- 5 検査用計器一覧表

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成30年 10月12日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成30年 10月12日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

警報保護装置検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 10月12日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 10月12日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
回路構成が完了していること。	立会 記録確認	平成30年 10月12日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

警報保護装置検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
回路構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和3年 3月26日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統運転性能検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和3年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設
 非常用電源設備
 その他の電源装置（非常用のものに限る。）
 無停電電源装置
 SA監視計器用電源

判定基準：工事計画のとおり製作、据付けされ、有害な欠陥がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
SA監視計器用電源	令和3年 3月26日	良	目視

備考

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査年月日	検査結果	備考	
			盤面警報・表示										
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障				
重故障	直流電圧異常 重 [UF102]	直流回路電圧 200V以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年3月26日	良	目視/記録確認
	ファン回路異常 重 [UF212]	ファン電源断	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
	ファン回路異常 重 [UF213]	フィン温度異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
	ファン回路異常 重 [UF214]	ファン異常 重 (2台)	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
	制御回路異常 重 [UF304]	リレーボード 伝送異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
	制御回路異常 重 [UF306]	+15V電源異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
		-15V電源異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	月 年 日		目視/記録確認
24V電源異常		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年3月26日	良	目視/記録確認	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1002

12

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査年月日	検査結果	備考	
			盤面警報・表示										
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障				
重故障	出力電圧異常重 [UF201]	出力電圧 +15%以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年3月26日	良	目視/記録確認
	出力電圧異常重 [UF202]	出力電圧 -15%以下	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	年月日		目視/記録確認
	インバータ故障 [UF203]	インバータ電流が定格電流の1250%以上	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	年月日		目視/記録確認
	直流スイッチ異常 [UF107]	72BC 開指令異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	年月日		目視/記録確認
過負荷	過負荷 [UA806]	定格出力の105%以上 125%未満 10min 継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	年月日		目視/記録確認
	過負荷 [UA808]	定格出力の125%以上 150%未満 10sec 継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	年月日		目視/記録確認
	過負荷 [UA809]	定格出力の150%以上 0.5sec 継続	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	令和3年3月26日	良	目視/記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1002

13

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査 年月日	検査 結果	備考
			盤面警報・表示									
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障			
軽故障	ファン回路異常 軽 [UF254]	ファン異常 軽 (1台) (88THF1)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	令和3年 3月26日	良	目視/ 記録確認
		ファン異常 軽 (1台) (88THF2)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
	制御回路異常 軽 [UF351]	制御電源 ヒューズ 断	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
	制御回路異常 軽 [UF369]	表示用制御電源 異常 (SW11, 12)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
		表示用制御電源 異常 (SW13, 14)	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
	出力電圧異常 軽 [UF256]	出力電圧+5%以上 60sec 継続	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
		出力電圧-5%以下 60sec 継続	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	年 月 日		目視/ 記録確認
	直流入力電圧異常 軽 [UF171]	直流入力電圧異常	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	令和3年 3月26日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：72-3-1002

カ

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査 年月日	検査 結果	備考
			盤面警報・表示									
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障			
軽故障	NFB トリップ異常 [UF458]	52R トリップ	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	令和3年 3月26日	良	目視/ 記録確認
		8A トリップ	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯			目視/ 記録確認
		52L トリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯			目視/ 記録確認
		72B トリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯			目視/ 記録確認
		8DD トリップ	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯			目視/ 記録確認
	整流器故障 軽 [UF052]	52RC 指令と 状態の不一致	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	目視/ 記録確認		
	整流器故障 軽 [UF056]	コンバータ過電流 1分間に10回発生	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	目視/ 記録確認		
直流入力ヒューズ断 [UF172]	直流入力ヒューズ断	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	目視/ 記録確認			
直流 運 転	制御回路異常 [UA826]	8A 開放	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和3年 3月26日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。
 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-100Z

15

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (現地)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査 年月日	検査 結果	備考	
			盤面警報・表示										
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障				
重故障	制御回路異常 重 [UF301]	AD/DA 異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年 3月26日	良	記録確認
	制御回路異常 重 [UF302]	SQ-DSP 異常	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年 3月26日	良	記録確認
	制御回路異常 重 [UF303]	CN-DSP 異常	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	点灯	令和3年 3月26日	良	記録確認
軽故障	整流器故障 軽 [UF056]	コンバータ過電流 10sec 継続	消灯	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	令和3年 3月26日	良	記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1002

高浜発電所第2号機

警報保護装置検査記録 (工場)

検査場所：三菱電機株式会社 電力システム製作所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設
非常用電源設備 その他の電源装置 (非常用のものに限る。) 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準：機器及び警報表示が正常に動作すること。

項目	信号名称	検査方法	確認対象							検査 年月日	検査 結果	備考	
			盤面警報・表示										
			直流起動	交流運転	直流運転	軽故障	過負荷停止	放電終止	重故障				
重故障	直流電圧異常 重 [UF103]	直流回路電圧 90V以下	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
放電終止	放電終止 [UA834]	直流入力電圧低 下 (100V以下)	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	点灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
軽故障	ダイオード スタック異常 軽 [UF170]	直流電源側への 充電電流あり	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
	整流器故障 軽 [UF059]	コンバータ異常	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
直流運転	交流入力電源異常 [UA801]	入力電源電圧 +18%以上	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
		入力電源電圧 -30%以下	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
	交流入力電源異常 [UA802]	入力電源周波数 +7%以上	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認
		入力電源周波数 -7%以下	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	平成30年 10月12日	良	目視 記録確認

備考
~~記録確認は申請者の品質記録(※1)による。~~
~~※1: 適合性確認検査成績書の識別番号~~

71

高浜発電所第2号機

系統運転性能検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

非常用電源設備 その他の電源装置（非常用のものに限る。） 無停電電源装置 SA監視計器用電源

判定基準

交流及び直流入力運転、交流入力運転、直流入力運転において、出力電圧、出力周波数が許容範囲内であること。

検査対象	出力電圧 (V)		出力周波数 (Hz)		出力電流 (A) (参考値)	検査 年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画記載値 許容範囲※1	測定値	工事計画記載値 許容範囲※1	測定値				
交流及び 直流入力運転 (通常運転時)	115 ±2.3	115.17	60 ±0.06	60.01	61.4	令和3年 3月26日	良	目視 記録確認
交流入力運転 (72B 開放時)	115 ±2.3	115.16	60 ±0.06	60.01	61.2	令和3年 3月26日	良	目視 記録確認
直流入力運転 (52R 開放時)	115 ±2.3	115.10	60 ±0.06	60.00	61.1	令和3年 3月26日	良	目視 記録確認

備考

※1：許容範囲はメーカー基準による。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

18

高浜発電所第2号機 使用前検査

検査用計器一覧表

検査年月日：令和 3 年 3 月 26 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統運転性能検査	デジタルマルチメータ				2020/5/25	
					2021/5/24	
以下余白					2020/5/25	
					2021/5/24	

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：1-25-2

令和4年 / 月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-25-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月18日
至 令和4年1月26日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号 (平成28年10月7日)
	関原発第435号 (平成30年3月20日)
	関原発第 47号 (平成30年4月20日)
	関原発第203号 (平成30年7月 4日)
	関原発第260号 (平成30年8月20日)
	関原発第416号 (平成30年12月5日)
	関原発第505号 (平成31年2月 1日)
	関原発第513号 (平成31年2月 6日)
	関原発第 4号 (平成31年4月 4日)
	関原発第 69号 (2019年5月16日)
	関原発第116号 (2019年6月24日)
	関原発第205号 (2019年8月23日)
	関原発第511号 (2020年1月31日)
	関原発第543号 (2020年2月26日)
	関原発第618号 (2020年3月24日)
	関原発第 23号 (2020年4月 7日)
	関原発第 23号 (2021年4月30日)
	関原発第293号 (2021年8月 2日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
w 令和3年 3月18日	良	増本 豊	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] 技術-4-E/主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和3年 3月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和3年 3月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和3年 3月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 発電機 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・運転性能検査 絶縁耐力検査 機能検査 ・インターロック検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0909 (その2) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

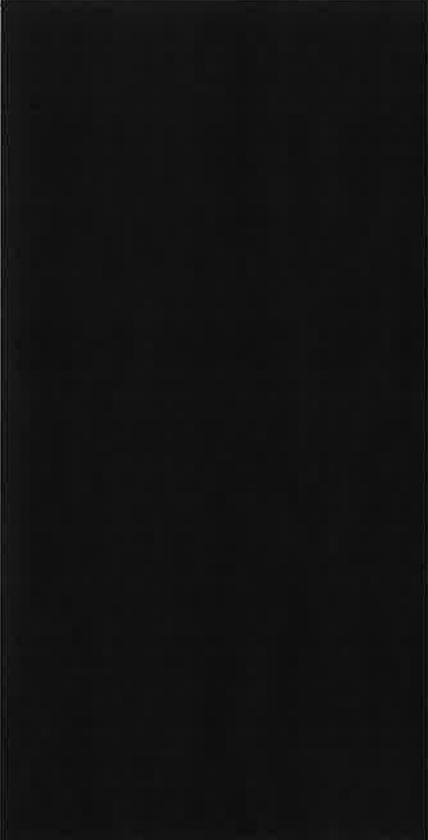
関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和3年 3月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
電源車 (2A)	運転性能検査		良	目視
			良	
			良	
			良	
			良	
備考				
				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和3年3月18日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能 検査	デジタルパワ ーメータ				2020/10/6 2021/10/5	良
以下余白						

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名称				電源車内燃機関 (注1)
機関	種類	—		ディーゼル機関
	出力	kW/個		
	回転速度	rpm		
	燃料の種類	—		
	燃料の使用量	ℓ/h/個		
	個数	—	—	1 (注2)
	取付箇所	—		
過給機	種類	—		排気タービン式
	出口の圧力	kPa		
	回転速度	rpm		
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名称				(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用) 内燃機関
機 関	種類	—		ディーゼル機関
	出力	kW/個		
	回転速度	rpm		
	燃料の種類	—		
	燃料の使用量	ℓ/h/個		
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		
過 給 機	種類	—		排気タービン式
	出口の圧力	kPa		
	回転速度	rpm		
	個数	—		1 (注2)
	取付箇所	—		

(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)の附属機器である。

(注2) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)1台当たりの個数を示す。

ロ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類

(電源車)

			変更前	変更後
名称				調速装置 (注1)
種類	—			電気式

(注1) 電源車の附属機器である。

			変更前	変更後
名称				非常調速装置 (注1)
種類	—			電気式

(注1) 電源車の附属機器である。

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

		変更前	変更後
名称		—	調速装置 ^(注1)
種類	—		電気式

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

		変更前	変更後
名称		—	非常調速装置 ^(注1)
種類	—		電気式

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名 称				冷却水ポンプ (注1)
種 類	—			
容 量	ℓ/min/個	—		
個 数	—			1 (注3)
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名 称				冷却水ポンプ (注1)
種 類	—			
容 量	ℓ/min/個	—		
個 数	—			1 (注3)
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 1台当たりの個数を示す。

(5) 発電機に係る次の事項

- イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

- ・可搬型
(電源車)

			変更前	変更後	
名称				電源車	
種	類	—		回転界磁形同期発電機	
容	量	kVA/個			
主要寸法	た	て	mm		
	横		mm		
	高	さ	mm		
	車 両 全	長	mm		
	車 両 全	幅	mm		
	車 両	高	さ		mm
力	率	%			
電	圧	V			
相		—			
周	波	数	Hz		
回	転	速	度		rpm
結	線	法	—		
冷	却	方	法		—
個	数	—			2 (注3)

取付箇所	—		保管場所：  取付箇所： 
------	---	--	--

- (注1) 750kVAの変圧器により6,600Vに昇圧する。
- (注2) 公称値
- (注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

				変更前	変更後
名称					電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)
種類	類	—			回転界磁形同期発電機
容量	量	kVA/個			
主要寸法	た	て	mm		
	横		mm		
	高	さ	mm		
	車両全	長	mm		
	車両全	幅	mm		
	車両高	さ	mm		
力	率	%			
電	圧	V			
相		—			
周	波	数	Hz		
回	転	速	度 rpm		
結	線	法 —			
冷	却	方 法 —			
個	数	—		2 (注2)	
取付箇所				—	保管場所： [黒塗り]
					取付箇所： [黒塗り]

(注1) 公称値

(注2) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

			変更前	変更後
名 称				励磁装置 ^(注1)
種 類	—			ブラシレス方式 (AVR付)
容 量	kVA/個	—		
個 数	—			1 ^(注2)
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名 称				励磁装置 ^(注1)
種 類	—			ブラシレス方式 (AVR付)
容 量	kVA/個	—		
個 数	—			1 ^(注2)
取 付 箇 所	—			

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

(注2) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 1台当たりの個数を示す。

ハ 保護継電装置の名称及び種類

(電源車)

		変更前	変更後
名 称			保護継電装置 ^(注1)
種 類		—	過電流継電器
			漏電継電器

(注1) 電源車の附属機器である。

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

		変 更 前	変 更 後
名 称			保護継電装置 (注1)
種 類		—	過電流継電器
			漏電継電器

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

ニ 原動機との連結方法

(電源車)

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法		—	直結

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法		—	直結

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和4年 1月26日</p>	<p>良</p>	<p>宇野 正登 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者  電気主任技術者 </p>	<p>なし</p>

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和4年 1月 26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和4年 1 月 26 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	(良)・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	(良)・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	(良)・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	(良)・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-25-2

検査年月日：令和4年 1月 26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 その他の電源装置 無停電電源装置 可搬式整流器 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1019 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

工事計画本文(原規規発第1606105号(平成28年6月10日認可))

その他発電用原子炉の附属施設

1. 非常用電源設備

3 その他の電源装置(非常用のものに限る。)に係る次の事項

(1) 無停電電源装置の名称、種類、容量、電圧、周波数、主要寸法、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備(3号機及び4号機共用)であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

			変更前	変更後
名称				可搬式整流器 ^(注1)
種	類	—		交流/直流変換装置
容	量	A/個		
電	圧	V		
周	波	数	Hz	
主要寸法	た	て	mm	
	横		mm	
	高	さ	mm	
個	数	—		1 ^(注3)
取付箇所				保管場所: [redacted] 取付箇所: [redacted]

(注1) 可搬式整流器は、「整流器、降圧変圧器」で構成する。

(注2) 公称値

(注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注4) ケーブル接続箇所を示す。

22/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-26

令和 々 年 々 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-26

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 4 年 2 月 16 日
至 令和 4 年 2 月 16 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第321号(平成28年10月7日)
	関原発第435号(平成30年3月20日)
	関原発第47号(平成30年4月20日)
	関原発第203号(平成30年7月4日)
	関原発第260号(平成30年8月20日)
	関原発第416号(平成30年12月5日)
	関原発第505号(平成31年2月1日)
	関原発第513号(平成31年2月6日)
	関原発第4号(平成31年4月4日)
	関原発第69号(2019年5月16日)
	関原発第116号(2019年6月24日)
	関原発第205号(2019年8月23日)
	関原発第511号(2020年1月31日)
	関原発第543号(2020年2月26日)
	関原発第618号(2020年3月24日)
	関原発第23号(2020年4月7日)
	関原発第23号(2021年4月30日)
	関原発第293号(2021年8月2日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-26

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 2 月 16 日	良	増本 豊 平沢 淳	茶電用原子炉 主任技術者  電気主任技術者 	なし

~

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-26

検査年月日：令和 4 年 2 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⓪良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⓪良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⓪良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-26

検査年月日：令和 4 年 2 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-26

検査年月日：令和 4 年 2 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 その他の電源装置 電源貯蔵装置 可搬型バッテリー 別添 1 参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能・性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認※1</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1011 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照 ※1:目視以外について記録で確認			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-26

検査年月日：令和 4 年 2 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
高浜2号機 可搬型バッテリー（加圧 器逃がし弁用）	機能・性能検査 運転性能検査	※1 容量： 850 Wh 電圧： 123.5V	良	目視
-以下余白-				
備考 ※1 容量 780Wh以上、電圧 125V ±5%以内				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-26

検査年月日：令和4年2月16日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能 検査	デジタルマルチメータ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2021.9.6	
					2022.9.5	
	パワーアナライザ				2022.2.1	
					2023.2.28	
	電流プローブ				2022.2.1	
					2023.2.28	
	ストップウォッチ				2019.6.25	
					2022.6.24	
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

3 その他の電源装置（非常用のものに限る。）に係る次の事項

(2) 電力貯蔵装置の名称、種類、容量、電圧、主要寸法、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名称				可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)
種類	類	—		リチウムバッテリー電源装置
容量	量	Wh/個		
電圧	圧	V		
主要寸法	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
個数	数	—		1 (注2)
取付箇所				保管場所： [redacted] 取付箇所： [redacted]

(注1) 公称値

(注2) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99
成績書管理番号 : 1-27-1

令和5年 1月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-27-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月21日
至 ~~令和4~~年~~12~~月~~14~~日
令和5 1 / 12
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第4号 (平成31年4月4日) 関原発第69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月7日) 関原発第 23号 (2021年4月30日) 関原発第 293号 (2021年8月2日) 関原発第 562号 (2022年2月28日) 関原発第 585号 (2022年3月15日) 関原発第 137号 (2022年6月10日) 関原発第 209号 (2022年7月1日) ※
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

※ 関原発第580号 (2022年12月27日)

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月21日	良	上田 洋	発電用原子炉 主任技術者  原子力施設検査官 主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和 2 年 12 月 21 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和2年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和2年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の付属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 ポンプ 主配管 別添参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査（通油検査）	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0501（その2）			

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

			変更前	変更後
名称				(注1) 燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ1・2号機共用)
種	類	—		歯車式
容	量	m ³ /h/個		
吐	出	圧	力	MPa
最	高	使	用	圧
最	高	使	用	温
	吸	込	口	径
	吐	出	口	径
	た	て		
	横			
	高	さ		
材	料	ケ	ー	シ
個	数	—		

ポンプ

主要寸法

2

7

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						(注4) 燃料油移送 ポンプ ～ 燃料油 サービスタンク (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
								(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38	

3

8

6

変更前					変更後				
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料
					(注4) 燃料油 サービスタンク ~ 燃料油第1こし器 (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7 STPG38

4

10

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注4) 燃料油第1こし器 ～ ディーゼル機関 (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
									(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38

5

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注4) ディーゼル機関 ～ 燃料油第2こし器 燃料設備 (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38

6

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注4) 燃料油第2こし器 ～ ディーゼル機関 (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
								(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38	

7

(注2) 公称値

(注4) 本設備は既存の設備である。

12

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和3年 1月6日	良	雑賀康正	発電用原子炉 主任技術者  ボク-9-03主任技術者 	なし

10

関西電力株式会社高浜発電所第 2 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和 3 年 1 月 6 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和3年 1月 6日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和3年 1月 6日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 別添参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 燃料給油検査 (通油検査)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0501 (その6)			

設 備 概 要

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(4) 燃料設備に係る次の事項

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						(注3) 燃料油貯油そう ~ 燃料油貯油そう 燃料油取出口 (1・2号機共用)	0.6	40	60.5	3.9	STPG370

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

(注4) 本設備は既存の設備である。

17

以下の設備は、1号機設備であり、1号機及び2号機共用の設備である。

・常設

燃料油貯油そう～燃料油貯油そう燃料油取出口（1号機設備、1・2号機共用）^(注)

(注1) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

18

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 12 月 14 日	良	吉村 直樹 江頭 豊	発電用原子炉 主任技術者  ホイラー、クビン 主任技術者 	なし

61

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：2014年 12月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和4年 12月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和4年 12月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 ポンプ	運転性能検査	別添3参照	良	目視*
備考 ※ 別添1の太線枠内の範囲（検査範囲の詳細については、別添2参照）				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和4年 12月 13日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量	金属製直尺	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2022.2.3	
					2023.2.2	
ストップウォッチ					2022.10.3	
					2023.10.31	
吐出圧力	圧力計				2022.11.7	
					2023.11.6	
備考						

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンクの名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

変更前			変更後	
名称			燃料油サービスタンク	
種類	類	—	角形	
容量	量	ℓ/個		
最高使用圧力	(注2)	—		
最高使用温度	(注2)	℃		
主要寸法	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
材料	胴板	—		
	底板	—		
個数	数	—	2 (機関1台につき1)	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	A燃料油サービスタンク	B燃料油サービスタンク
	設置床	—	A空冷式非常用発電装置	B空冷式非常用発電装置
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

・可搬型
(電源車)

		変更前	変更後
名称		—	燃料タンク (注1)
種類		—	角形
容量		0/個	
最高使用圧力 (注3)		—	
最高使用温度 (注3)		℃	
主要寸法	たて	mm	
	横	mm	
	高さ	mm	
材料		—	
個数		—	1 (注4)
取付箇所		—	

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))

名称			変更前	変更後
種類	—			燃料タンク ^(注1)
容量	ℓ/個			角形
最高使用圧力 ^(注3)	—			[Redacted]
最高使用温度 ^(注3)	℃			
主要寸法	たて	mm	—	
	横	mm		
	高さ	mm		
材料	—			
個数	—			
取付箇所	—			
				1 ^(注4)

(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)1台当たりの個数を示す。

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

			変 更 前	変 更 後	
ポンプ	名 称			空冷式非常用発電装置用給油ポンプ	
	種 類	—		歯車式	
	容 量 ^(注1)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 ^(注1)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 ^(注1)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 ^(注1)	℃			
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
	材 料	ケーシング	—		
	個 数	—		2 (機関1台につき1)	

(2/2)

			変 更 前	変 更 後
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	A空冷式非常用発電装置用給油ポンプ 空冷式非常用発電装置燃料油ライン
		設 置 床	—	B空冷式非常用発電装置用給油ポンプ 空冷式非常用発電装置燃料油ライン
		溢水防護上の 区画番号	—	
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	
原動機	取付箇所	種 類	—	三相かご形誘導電動機
		出 力	kW/個	
		個 数	—	2 (空冷式非常用発電装置用給油ポンプ1台につき1)
		取 付 箇 所	—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

二 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前				変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
					燃料設備					
					燃料油貯蔵油そう ～ 弁 (2V-MG-001A、B)	0.6	40	60.5 (E2)	3.9 (E2)	STPG370
								76.3 (R2)	5.2 (R2)	STPG370

二 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						弁 (2V-MG-001A, B) ~ 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 燃料油貯油そう側 フレキシブル ホース用 入口配管接続口	0	40	60.5	3.9	SUS304TT
燃料設備											

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
	空冷式非常用 発電装置 自動給油用 燃料油貯油そうじ フレキシブル ホース用 出口配管接続口 ～ 弁 (2V-MG-002A、B)	0 <small>(注1)</small>	40 <small>(注1)</small>	60.5 <small>(注2)</small>	3.9 <small>(注2)</small>		SUS304TP
	燃料 設備						

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		
						燃料設備	弁 (2V-MG-002A、B)	0	40	(t2)	(t2)	STPG370
										60.5	3.9	
							空冷式非常用 発電装置用 給油ポンプ	(t2)	(t2)	STPG370		
								48.6	3.7			
空冷式非常用 発電装置用 給油ポンプ	(t1)	(t1)	STPG370									
	48.6	3.7										
弁 (2V-MG-005A、B)	0.38	40	(t2)	(t2)	STPG370							
			34.0	3.4								

32

33

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						弁 (2V-MG-005A、B) ～ 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 空冷式非常用 発電装置側 フレキシブル ホース用 入口配管接続口	(注1) 0.38	(注1) 40	(注2) 34.0	(注2) 3.4	SUS304TP

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

(注4) 本設備は既存の設備である。

・可搬型

変更後

変更前

名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
燃料設備						
空布式非常用発電装置						
自動給油用						
ホース用入口配管 (燃料油貯油そう剛)	0	40	60.5	3.9	SUS304TP	保管場所: 取付箇所:

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
燃料設備							
(注1) 空希式非常用 発電装置 自動給油用 ホース (燃料油貯油そう機)	(注2) 0	(注3) 40	(注4) 50A	(注5) —	SUS304	保管場所： 取付箇所：	

36

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
	燃料設備	0	40	60.5	3.9	SUS304TP	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]
	(注1) 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 [Redacted]ホース用 出口配管 (燃料油貯油そう側)	(注2)	(注2)	(注3)	(注3)		

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
燃料設備	(a.1)					保管場所： [Redacted]	
空冷式非常用発電装置 自動給油用 [Redacted] ホース用 入口配管 (空冷式非常用発電装置側)	(a.2) 0.38	(a.3) 40	(a.4) 31.0	(a.5) 3.4	SUS304TP	取付箇所： [Redacted]	

変更前		変更後				
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
燃料設備	(注1)					保管場所： [Redacted]
空冷式非常用発電装置 自動給油用 [Redacted] ボーナス (空冷式非常用発電装置側)	(注2) 0.38	(注2) 40	(注3) 25A	(注4) —	SUS304	取付箇所： [Redacted]

39

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
燃料設備 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 〇ホース用 出口配管 (空冷式非常用 発電装置側)	0.38	10	34.0	3.4	SUS304TP	保管場所：  取付箇所： 	

(注1) 空冷式非常用発電装置の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

検査範囲図 (系統図 (3/4))
工事計画認可申請 第8-3-81図
高圧発電所 第 2 号機
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)の燃料系統図 (非常用発電装置(燃料設備))(8/12) (重大事故等対応設備)
関西電力株式会社

検査範囲図 (系統図(1/4))	工事計画認可申請
	第8-3-2図
高圧発電所 第2号機	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)の燃料系配管 (非常用発電装置(燃料設備))(2/12) (重大事故等対処設備)
関西電力株式会社	



検査範囲図 (構造図(1/2))

工事計画認可申請 第8-4-10図

高圧発電所 第2号機

その他発電用原子炉の附属施設
(非常用電源設備)の構造図
(非売品発電装置)

電力株式会社
電力株式会社
電力株式会社

電力株式会社

運転性能検査

検査対象	確認項目	判定基準	測定値	結果	備考
空冷式非常用発電装置用 給油ポンプ	容量	1.8m ³ /h/個以上 (1.8m ³ /h/個) ※1	2.5m ³ /h/個	良	
	吐出圧力	0.3MPa以上 (0.3MPa) ※1	0.3MPa	良	
	ポンプ運転状態	ポンプの運転時に異音、異臭等の異常がないこと	-	良	
<p>備考</p> <p>※1：公称値</p>					

43/11

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 / 月 12 日	良	種市 隆人 宇野 正登	ホイラー・タービン 主任技術者 	なし

カカ

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和5年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和5年 1 月 12 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	Ⓔ良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	Ⓔ良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	Ⓔ良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ Ⓔ記録確認	Ⓔ良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-1

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 補機駆動用燃料設備 燃料貯蔵設備 容器 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0550（その3） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原規規発第2002193号 令和2年2月19日認可

6 補機駆動用燃料設備 (非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)

1 燃料貯蔵設備に係る次の事項

(1) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び
取付箇所

・可搬型

名称			変更前	変更後
			送水車燃料タンク (注1)	変更なし
種類	—			
容量 (注2)	ℓ/個			
最高使用圧力 (注2)	—			
最高使用温度 (注2)	℃			
主要寸法	た	て	mm	
		横	mm	
	高	さ	mm	
材	料	—		
個	数	—	1 (注4)	
取	付	箇	所	—

(注1) 送水車の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 送水車1台当たりの個数を示す。

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：非常用電源設備

非常用発電装置 燃料設備

補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係る
ものを除く。）

燃料貯蔵設備

要領書番号：原規規収第1610072号1-27-2

令和2年5月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査

- 3 検査申請 使用前検査申請番号
- 関原発第321号 (平成28年10月7日)
 - 関原発第435号 (平成30年3月20日)
 - 関原発第47号 (平成30年4月20日)
 - 関原発第203号 (平成30年7月4日)
 - 関原発第260号 (平成30年8月20日)
 - 関原発第416号 (平成30年12月5日)
 - 関原発第505号 (平成31年2月1日)
 - 関原発第513号 (平成31年2月6日)
 - 関原発第4号 (平成31年4月4日)
 - 関原発第69号 (2019年5月16日)
 - 関原発第116号 (2019年6月24日)
 - 関原発第205号 (2019年8月23日)

(以下. 別紙1参照)

- 4 検査期日 自 令和2年1月9日
至 令和2年5月27日

- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
- 発電用原子炉施設
 - その他発電用原子炉の附属施設
 - 非常用電源設備
 - 非常用発電装置
 - 燃料設備
 - 容器
 - 常設
 - 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ1・2号機共用) ※1
 - 2 (機関1台につき1)
 - 主配管
 - 常設 (重大事故等時のみ1・2号機共用) 一式

※1 : その他発電用原子炉の附属施設 (補機駆動用燃料設備)
のうち燃料貯蔵設備と兼用

- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第511号(2020年1月31日)

関原発第543号(2020年2月26日)

関原発第618号(2020年3月24日)

関原発第 23号(2020年4月 7日)

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和2年1月9日	令和2年1月9日
		印 山形英男	印 〇〇〇-〇-〇〇主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和 2 年 5 月 27 日	令和 2 年 5 月 27 日
		原子力検査官	本館一ツツノ主任技術者
		増本 豊 XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
		河田 拓也 XXXXXXXXXX	

8 特記事項

TJ L

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統性能検査

燃料給油検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和2年 1月9日	良	
	立会 / 記録確認	令和2年 5月27日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統性能検査

容量確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和2年 1月9日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機

燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
 主配管 常設（重大事故等時のみ1・2号機共用）：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
2 A燃料油貯油そう ～ 2 A燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ1・2号機共用)	令和2年 1月9日	良	目視/ 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~~~※ 適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備

主配管 常設（重大事故等時のみ1・2号機共用）：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
2B燃料油貯油そう ～ 2B燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ1・2号機共用)	令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0501

高浜発電所第2号機

容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
容器 常設 燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量(m ³)			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 ^{※3}	測定値			
2A燃料油貯油そう ^{※1}	■ (200 ^{※2})	■	201.95	令和2年 1月9日	良	目視/ 記録確認

備考

※1：補機駆動用燃料設備のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

~~記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。~~~~※4：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
容器 常設 燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (m ³)			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 ^{※3}	測定値			
2B燃料油貯油そう ^{※1}	■ (200 ^{※2})	■	/	令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認

備考

※1：補機駆動用燃料設備のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-3-0501

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年1月9日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認 検査	インバックス				2018.1.12 2020.1.11	
以下余白						

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 1-28-1

令和3年2月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日) ~~関原発第23号~~(2020年4月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(令和元年5月16日)
関原発第116号(令和元年6月24日)
関原発第205号(2019年8月23日)
関原発第511号(2020年1月31日)
関原発第543号(2020年2月26日)
関原発第618号(2020年3月24日)
- 4 検査期日 自 令和元年5月23日
至 令和3年2月17日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年5月 ²³ / ₂₄ 日	令和元年5月 ²³ / ₂₄ 日
		村上恒夫 環境技官 河田拓也 環境技官 増本豊	発電用原子炉 主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - ~~(4) 組立て及び据付け状態を確認する検査~~
- 3 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年 7月 18日	令和元年 7月 18日
		平井 隆 	発電用原子炉 主任技術者 
		河田 拓也 	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- 3 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和3年2月17日	令和3年2月17日
		須貝 実 #	発電用原子炉主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> #

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- 3 検査用計器一覧表

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月 ²³ / ₂₄ 日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 7月 ¹⁸ / ₁₉ 日	良	
		令和3年 2月17日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 5月 ²³ / ₂₄ 日	良	
		令和元年 7月 ¹⁸ / ₁₉ 日	良	
		令和3年 2月17日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 5月 ²³ / ₂₄ 日	良	
		令和元年 7月 ¹⁸ / ₁₉ 日	良	
		令和3年 2月17日	良	

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月23日	良	
		令和元年 7月19日	良	
		令和3年 2月17日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月23日	良	
		令和元年 7月19日	良	
		令和3年 2月17日	良	

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月24日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		令和3年 2月17日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月24日	良	
		令和元年 7月19日	良	
		令和3年 2月17日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月24日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		令和3年 2月17日	良	

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月24日	良	
		令和元年 7月19日	良	
		令和3年 2月17日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月24日	良	
		令和元年 7月19日	良	
		令和3年 2月17日	良	

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月18日	良	
		令和3年 2月17日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 7月18日	良	
		令和3年 2月17日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (材料検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル ※1	鉄筋コンクリート	令和元年 5月23日	良	記録確認
燃料油貯油そうエリア	鉄筋コンクリート	年 月 日		記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003

※1：このうち海水管トンネルの別紙に示す対象範囲について確認
(ただし、構造体コンクリートの圧縮強度は除く。)

高浜発電所第2号機				
性能検査記録 (材料検査)				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	鉄筋コンクリート	年 月 日		記録確認
燃料油貯油そうエリア	鉄筋コンクリート	令和元年 7月18日	良	記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 				
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003				

高浜発電所第2号機				
性能検査記録 (材料検査)				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	鉄筋コンクリート	令和3年 2月17日	良	※1 記録確認
燃料油貯油そうエリア	鉄筋コンクリート	年 月 日		記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003 ※1：検査対象のうち別添に示す範囲について確認 				

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備

火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル ※3			804 S 857	令和元年 5月24日	良	目視 記録確認
燃料油貯油そうエリア				年 月 日		目視/ 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値のうち最小のもの

・記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：

※3：このうち海水管トンネルの別紙に示す対象範囲について確認

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル				年 月 日		目視/ 記録確認
燃料油貯油そうエリア			450	令和元年 7月18日	良	目視/ 記録確認

備 考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値のうち最小のもの

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003

高浜発電所第2号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル				令和3年 2月17日	良	目視 ^{※4} 記録確認
燃料油貯油そうエリア				年 月 日		目視/ 記録確認
備 考						
※1：許容値は工事計画による。						
※2：公称値のうち最小のもの						
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。						
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003						
※4：検査対象のうち別添に示す範囲について確認						

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (外観検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル※1	令和元年 5月24日	良	(目視) 記録確認
燃料油貯油そうエリア	年 月 日		目視/ 記録確認

備考

記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：

※1：このうち海水管トンネルの別紙に示す対象範囲について確認

高浜発電所第2号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	年 月 日		目視/ 記録確認
燃料油貯油そうエリア	令和元年 7月18日 19日	良	目視/ 記録確認
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。			
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003			

高浜発電所第2号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	令和3年 2月17日	良	目視/ ※1 記録確認
燃料油貯油そうエリア	年 月 日		目視/ 記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003 ※1：検査対象のうち別添に示す範囲について確認			

高浜発電所第2号機

性能検査記録
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	年 月 日		目視/ 記録確認
燃料油貯油そうエリア	令和元年 7月18日 19	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

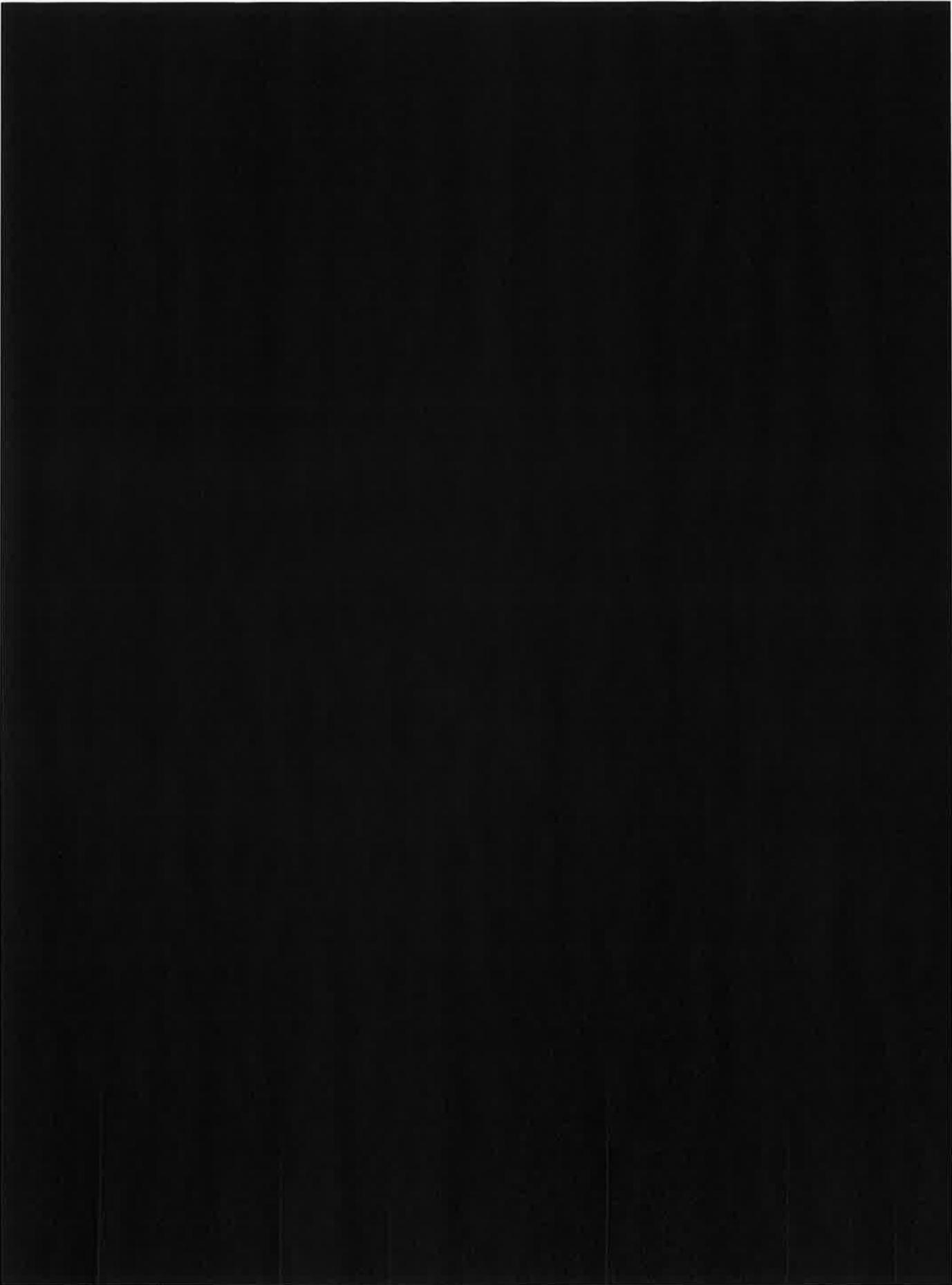
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003

高浜発電所第2号機			
性能検査記録 (組立て及び据付け状態を確認する検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ストレーナ室及び 海水管トンネル	令和3年 2月17日	良	目視 ※1 記録確認 ※1
燃料油貯油そうエリア	年 月 日		目視/ 記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-2003 ※1：検査対象の識別添に示す範囲について確認			

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年5月24日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンパス				2019年1月29日 2020年1月28日	L=測定長 (m)





関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 1-28-2

令和X年 10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-28-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 4 年 10 月 25 日
至 令和 4 年 10 月 25 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) 関原発第23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和X年 10月25日	良	須貝 実 増本 豊	発電用原子炉 主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和4年 10月 27日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和7年 10月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・☹	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和4年 10月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0351、T2-3-1308、T2-3-1907 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・原子炉補助建屋、燃料取扱建屋

(1/2)

変更前				変更後 (注1)							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
					A余熱除去ポンプ室	火災区画					
					B余熱除去ポンプ室	火災区画					
					A、B内部スプレポンプ室	火災区画					
					C、D内部スプレポンプ室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.-1.6m通路	火災区画					
					RHR及びスプレ再循環弁室	火災区画					
					RHR及びスプレ配管室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+5.3m通路	火災区画					
					A余熱除去クーラ室	火災区画					
					B余熱除去クーラ室	火災区画					
					内部スプレクーラ室	火災区画					
					廃液ホールドアップタンク室	火災区画					
					ケーブルチェイス室	火災区画					
					パイプチェイス室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+9.7m通路	火災区画			壁	150 以上 (注2)	鉄筋コンクリート
					A充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画					
					B充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画					
					C充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画					
					充てん/高圧注入ポンプ配管室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+17m通路1	火災区画					
					封水及び非再生クーラ室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+17m通路2	火災区画					
					ほう酸回収装置室・廃液蒸発装置室	火災区画					
					ホールドアップタンクポンプ室	火災区画					
					ホールドアップタンク室	火災区画					
					廃樹脂タンク室	火災区画					
					ガス減衰タンク室	火災区画					
					ガス圧縮機室	火災区画					
					ほう酸濃縮液タンク室	火災区画					

検査対象範囲

01XN111/10

変更前					変更後 (注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
									壁	150 以上 ■ (注2)	鉄筋コンクリート
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路2	火災区画					
					脱塩塔及びフィルタエリア	火災区画					
					体積制御タンク室	火災区画					
					使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画					
					ドラム詰室	火災区画					
					ほう酸タンク室	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画					
					使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画					
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画					
								■ (注3)	けい酸カルシウム板		
								■ (注3)	フレキシブルボード		
								■ (注3)	鋼板		

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

・制御建屋

変更前					変更後 (注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
									壁	150 以上 ■ (注2)	鉄筋コンクリート
					Bスイッチギヤ室	火災区画					
					1次系リレー室	火災区画					
					現場入出力盤室	火災区画					
					ケーブルチェイス	火災区画					

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

 : 検査対象範囲

・中間建屋、ディーゼル発電建屋

変更前					変更後(注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
					Aディーゼル発電機室	火災区画		壁	150-以上 ■(注2)	鉄筋コンクリート	
					Bディーゼル発電機室	火災区画					
					Aスイッチギヤ室	火災区画					
					Aバッテリー室	火災区画					
					Bバッテリー室	火災区画					
					1次系冷却水クーラ室	火災区画					
					タービン動補助給水ポンプ室	火災区画					
					主蒸気管ヘッド室	火災区画					
					1次系冷却水ポンプ室	火災区画					
					主給水管室	火災区画					
					補助建屋よう素除去排気フィルタユニット室	火災区画					
					中間建屋 E.L.+10.1m通路	火災区画					
					換気空調設備室	火災区画					
					アニュラス循環フィルタユニット室	火災区画					
					主蒸気主給水配管室1	火災区画					
					中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画					
					制御棒駆動装置制御室	火災区画					
					主蒸気主給水配管室2	火災区画					
					中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画					
					制御棒駆動装置制御室	火災区画					
					1次系冷却水ポンプ室	火災区画					
					中間建屋 E.L.+10.1m通路	火災区画					
					換気空調設備室	火災区画					
					主蒸気主給水配管室1	火災区画					
					中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画					
					主蒸気主給水配管室2	火災区画					
								■(注3)	けい酸カルシウム 板		
								■(注3)	フレキシブルボート		
								■(注3)	鋼板		

6

(注1) 本設備は既存の設備である。
 (注2) 公称値のうち最小のもの
 (注3) 公称値

: 検査対象範囲

別添1(3/4)

・原子炉格納容器

変更前					変更後 ^(注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			

- (注1) 本設備は既存の設備である。
- (注2) 公称値のうち最小のもの
- (注3) 公称値

・海水ポンプ室、海水管トレンチ室

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			

- (注1) 本設備は既存の設備である。
- (注2) 公称値のうち最小のもの

・燃料油貯油そう ※

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			

- (注1) 公称値のうち最小のもの

: 検査対象範囲

※1-28-1にて検査済み

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

消火設備

主配管 (常設)

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 1-29

令和4年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第2号機

2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査

3 検査申請 使用前検査申請番号

関原発第321号 (平成28年10月7日)	関原発第511号 (2020年1月31日)
関原発第435号 (平成30年3月20日)	関原発第543号 (2020年2月26日)
関原発第47号 (平成30年4月20日)	関原発第618号 (2020年3月24日)
関原発第203号 (平成30年7月4日)	関原発第23号 (2020年4月7日)
関原発第260号 (平成30年8月20日)	関原発第23号 (2020年4月30日)
関原発第416号 (平成30年12月5日)	関原発第293号 (2021年8月2日)
関原発第505号 (平成31年2月1日)	関原発第562号 (2022年2月28日)
関原発第513号 (平成31年2月6日)	関原発第585号 (2022年3月15日)
関原発第4号 (平成31年4月4日)	関原発第137号 (2022年6月10日)
関原発第69号 (平成31年5月16日)	関原発第209号 (2022年7月1日)
関原発第116号 (2019年6月24日)	
関原発第205号 (2019年8月29日)	

4 検査期日 自平成31年3月26日
至令和4年12月15日

5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
消火設備
主配管 (常設) 一式

7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統機能検査 通水検査	良	平成31年3月26日	平成31年3月26日
		前田 剛	ボイラー 7-セ 主任技術者
		平川 圭司	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 通水検査記録

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者
系統機能検査 通水検査	良	令和4年12月15日	令和4年12月15日
		江頭 豊 吉村直樹	ホウライ・タビシ主任技術者

8 特記事項

たゞ

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 通水検査記録

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和4年 12月15日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		令和4年 12月15日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であることを確認する。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		令和4年 12月15日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統機能検査

通水検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		令和4年 12月15日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 3月26日	良	
		令和4年 12月15日	良	
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	平成31年 3月26日	良	立会
		令和4年 12月15日	良	記録確認
		年 月 日		

高浜発電所第2号機			
通水検査記録			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 主配管（常設）：一式 (別添1参照)			
判定基準：異常なく通水できること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
弁(2V-6913C) ~ 格納容器内第1分岐点	令和4年 12月15日	良	目視/ 記録確認
1号機、2号機火災区画供給ライン分岐点 ~ A、B消火水バックアップ供給ライン消火水配管合流点	平成31年 3月26日 令和4年12月15日	良* 良*2	目視/ 記録確認*2
A、B消火水バックアップ供給ライン消火水配管合流点 ~ アニュラス内第1分岐点	令和4年 12月15日	良	目視/ 記録確認
2号機火災区画供給ライン分岐点 ~ 弁(2V-6913D)	令和4年 12月15日	良	目視/ 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、申請者の品質記録(*)による。 *：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0201(Z02) *：別紙1の図示範囲について確認 (1号機; 2号機火災区画供給ライン分岐点から溶接線番号57に付) *2: (溶接線番号57から A, B消火水バックアップ供給ライン消火水配管合流点に付) 			

31年3月26日

検査範囲図 (配管図 1/2)

その他発電用原子炉の附属施設
(火災防護設備)に係る機器の
配置を明示した図面
(消火設備) (1/6)



2017年3月20日

検査範囲図 (配管図 2/2)

その他発電用原子炉の附属施設
(火災防護設備)に係る機器の
配置を明示した図面
(消火設備) (2/6)

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

（2）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
	(注1) 弁(2V-6913D) ~ 格納容器貫通部 PEN#228				(注2) 6.0		STPG42	消火設備	変更なし			
消火設備						消火設備	(注3) 弁(2V-6913C) ~ 格納容器内 第1分岐点				(注2) 6.0	STPG42

□ : 検査対象範囲

01

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						消火設備	1号機、2号機 火災区画 供給ライン 分岐点 ～ A、B消火水 バックアップ 供給ライン 消火水配管合流点					
										(注2, 3)	(注3)	7.1 STPG370
										(注2, 3)	(注3)	7.1 STPG42
										(注2)		10.3 STPT370

□ : 検査対象範囲

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						消火設備						
							A、B消火水 バックアップ 供給ライン 消火水配管合流点 ～ アニュラス内 第1分岐点			(注2) 5.5		SUS304TP
										(注2, 3) 6.0		(注3) STPG42
										(注2, 3) 7.1		(注3) STPG42
							2号機 火災区画 供給ライン 分岐点 ～ 弁(2V-6913D)			(注2) 6.0		SUS304TP
										(注2) 7.1		STPT370
										(注2, 3) 6.0		(注3) STPG42
									(注2) 6.0		SUS304TP	

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 公称値

(注3) 本設備は既存の設備である。

□ : 検査対象範囲

工事計画軽微変更（関原発第267号（2019年10月4日））

変 更 前					変 更 後				
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm) 材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm) 材 料
1号機、2号機 火災区画 供給ライン 分岐点 ~ A、B消火水 バックアップ 供給ライン 消火水配管合流点				(注5) STPG370	消火設備 変更なし				
				STPG42					
				(注4) STPG410					
				STPT370					

12

□ : 検査対象範囲

13

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備			A、B消火水 バックアップ 供給ライン 消火水配管合流点 ～ アニュラス内 第1分岐点	(注2) 5.5	SUS304TP	消火設備	変更なし				
				(注2) 6.0	STPG42						
				(注2) 7.1	STPG42						
				(注2) 6.0	SUS304TP						
			2号機 火災区画 供給ライン 分岐点 ～ 弁(2V-6913D)	(注2) 7.1	STPT370						
				(注2) 6.0	STPG42						
				(注2) 6.0	SUS304TP						

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 公称値

(注3) 本設備は既存の設備である。

(注4) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

□ : 検査対象範囲

(注5) 注記について記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書の記載の「本設備は既存の設備である。」を削除

14/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋

海水ポンプ室浸水防止蓋

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 1-30

令和元年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(令和元年5月16日)
関原発第116号(令和元年6月24日)
関原発第205号(令和元年8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年8月7日
至 令和元年10月23日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

6 検査範囲

高浜発電所第2号機

発電用原子炉施設

その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋 2個

海水ポンプ室浸水防止蓋 15個

7 検査結果

検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年8月7日	令和元年8月 [Redacted]
		須貝 実 [Redacted] 環境技官 増本 豊 [Redacted]	本佐 夕之 [Redacted] [Redacted]

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - ~~(4) 組立て及び据付け状態を確認する検査~~
- 3 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年 10月 23日	令和元年 10月 23日
		吉村直樹	ボイラー-7-セブ 主任技術者
		印	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録

~~(1) 材料検査~~

(2) 寸法検査

(3) 外観検査

(4) 組立て及び据付け状態を確認する検査

~~3 検査用計器一覧表~~

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月7日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (材料検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：2個

海水ポンプ室浸水防止蓋：15個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋	SUS316	令和元年 8月7日	良	記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋	SUS316	令和元年 8月7日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録
(寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：2個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
循環水ポンプ室 浸水防止蓋 1	たて	290 ^{※2}	288.8 ~ 291.2	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	横	340 ^{※2}	338.8 ~ 341.2	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	19.5 (20 ^{※2})	19.5 ~ 20.5	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
循環水ポンプ室 浸水防止蓋 2	たて	290 ^{※2}	288.8 ~ 291.2	289.66 ~ 289.75 令和元年 8月7日	良	目視 記録確認
	横	340 ^{※2}	338.8 ~ 341.2	339.71 ~ 339.85 令和元年 8月7日	良	目視 記録確認
	厚さ	19.5 (20 ^{※2})	19.5 ~ 20.5	20.261 ~ 20.423 令和元年 8月7日	良	目視 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 1	外径	600 ^{※2}	598 ~ 602		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 2	外径	600 ^{※2}	598 ~ 602		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 3	外径	600 ^{※2}	598 ~ 602		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5		令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録
(寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 4	外径	600 ^{※2}	598 ~ 602	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 5	外径	600 ^{※2}	598 ~ 602	599.45 ~ 599.50	令和元年 8月7日	良	目視 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5	18.308 ~ 18.430	令和元年 8月7日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 6	外径	800 ^{※2}	798 ~ 802	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	17.5 (18 ^{※2})	17.5 ~ 18.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-3-0404

高浜発電所第2号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋：15個						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値*1 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋7	たて	790*2	788 ~ 792	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	横	3700*2	3696 ~ 3704	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16*2)	15.5 ~ 16.5	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋8	たて	790*2	788 ~ 792	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	横	995*2	993 ~ 997	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16*2)	15.5 ~ 16.5	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
備 考						
※1：許容値は工事計画による。						
※2：公称値						
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。						
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404						

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{*1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 9	たて	790 ^{*2}	788 ~ 792	790.05 ~ 790.15	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認
	横	910 ^{*2}	908 ~ 912	910.15 ~ 910.25	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 ^{*2})	15.5 ~ 16.5	16.186 ~ 16.250	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 10	たて	790 ^{*2}	788 ~ 792	/	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	横	3730 ^{*2}	3726 ~ 3734	/	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 ^{*2})	15.5 ~ 16.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 / 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{*1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 11	たて	790 ^{*2}	788 ~ 792	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	横	3855 ^{*2}	3851 ~ 3859	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	15.5 (16 ^{*2})	15.5 ~ 16.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 12	たて	310 ^{*2}	308.8 ~ 311.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	横	320 ^{*2}	318.8 ~ 321.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	11.5 (12 ^{*2})	11.5 ~ 12.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認

備 考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{*1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 13	たて	320 ^{*2}	318.8 ~ 321.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	横	320 ^{*2}	318.8 ~ 321.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	11.5 (12 ^{*2})	11.5 ~ 12.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 14	たて	310 ^{*2}	308.8 ~ 311.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	横	310 ^{*2}	308.8 ~ 311.2	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
	厚さ	11.5 (12 ^{*2})	11.5 ~ 12.5	/	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値*1 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 15	たて	320*2	318.8 ~ 321.2	319.78~319.94	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認
	横	320*2	318.8 ~ 321.2	319.89~319.93	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	11.5 (12*2)	11.5 ~ 12.5	12.252 ~12.310	令和元年 8月7日	良	目視 / 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

~~記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。~~~~※3：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

高浜発電所第 2 号機

性能検査記録 (外観検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：2 個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 10 月 23 日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 8 月 7 日	良	目視/ 記録確認

備 考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (外観検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 3	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 4	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 5	令和元年 8月7日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 6	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 7	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録 (外観検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 8	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 9	令和元年 8月7日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 10	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 11	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 12	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 13	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 14	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 15	令和元年 8月7日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0404

高浜発電所第2号機

性能検査記録

(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：2個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋1	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋2	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

性能検査記録
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 3	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 4	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 5	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 6	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 7	令和元年 10月23日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

性能検査記録
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 15個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 8	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 9	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 10	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 11	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 12	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 13	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 14	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 15	令和元年 10月23日	良	目視/ 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~

~~※：適合性確認検査成績書の識別番号！~~

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8 月 7 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 (寸法検査)	ノギス				2019年7月3日	
					2021年7月2日	
	ノギス				2019年6月14日	
					2021年6月10日	
	マイクロメータ				2019年6月14日	
					2021年6月13日	